Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

ビクター地上・BS・110度CS デジタル
液晶テレビ

型名 LT-32LC305-B
LT-32LC305-S

究極の表現力へ。

EXE
エ グ ゼ

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(6〜10ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

写真はLT-32LC305-Bです

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報や
イベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにも
ご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

acTVila
ア・ク・ト・ビ・ラ

G-GUIDE®

LCT2371-001B

本機には以下のような機能が搭載されています。
各機能の詳細や操作方法については、取扱説明書本文をご覧ください。

ビクターの液晶テレビは、

フルハイビジョン倍速液晶ドライバー

ブレを低減し、フルハイビジョンの高精細感をより高める「フルハイビジョン倍速液晶ドライバー」搭載

通常の映像は1秒間に60コマで構成されていますが、ビクター独自の「高精度動き予測アルゴリズム」は、従来比5倍※の周辺画像情報を分析して、フルハイビジョンにふさわしい毎秒120コマの映像を作り出します。これにより映像の残像感が大幅に低減し、スポーツ番組やテロップなど動きの速い映像もクッキリと再現できるようになりました。

※当社従来液晶テレビ（LC60）との比較。

従来液晶テレビ

→

LC305

「デモ設定」➔「倍速120コマ」で
その効果を実感できます。
（➔ 50ページ）

倍速GENESSA

高画質エンジン「倍速GENESSA」が、映像の1コマをより美しくする。

シーンごとにコントラスト調整やノイズ低減を施して美しい映像を映し出す高画質エンジン、それが「GENESSA」です。
「倍速GENESSA」はフルハイビジョン倍速液晶に対応。
- 明暗部をそれぞれコントラスト調整する**インテリジェントガンマ**
- 色を鮮やかに再現する**DCC**（DETカラークリエーション）
- 映像のノイズを抑え、クッキリ見やすくする**ノイズクリア**

などの働きを映像に合わせてリアルタイムに最適化することで、美しい映像を再現します。

究極の表現力へ。

マックスオーディオ

高音質エンジン「MaxxAudio」を搭載。
迫力の重低音から繊細な高音まで、
４つの高音質設定機能できめ細やかにサウンドコントロール。

重低音から高音までトータル音質を向上させ、自然な音の広がり感を演出します。
さらに、入力レベルに応じた音声レベルコントロールによって急に大きくなる音声を抑え、ストレスを感じにくい豊かな音響を楽しめるなど、ワンランク上の音を楽しめます。

マックスベース
迫力ある重低音再生能力がさらに向上。

マックストレブル
繊細な高音を再生します。

マックスステレオ
左右に音を広げる効果で自然な広がり感を演出。

マックスボリューム
入力レベルに応じて出力音声をコントロール。

「視聴設定」➔「マックスオーディオ」
で設定してみましょう。
（➔ 47ページ）

Hi-Fiオーディオでも採用のプロオーディオ技術を、テレビのために。
「オブリコーンスピーカー」

オブリコーンスピーカーは、当社のHi-Fiオーディオでも採用されている高音質スピーカーです。
振動板を駆動するボイスコイルの位置を中心からずらすことで、中・高音域の周波数特性を改善し、なめらかな音響特性とダイナミックでクリアな音楽再現を実現しました。

みんなが聞きやすい。「TVきき楽」

耳にうれしい、「はっきりステレオ」

聞き取りにくい小さな声を大きくし、不快に感じる大きな音は抑える機能です。音量を低めに設定していてもテレビの会話が聞こえやすくなり、臨場感が広がります。
小音量でも人の声がはっきり聞こえる「ひっそりモード」も搭載しています。

耳にやさしい、「ゆっくりトーク」

話し始めのスピードがゆっくりだと、人の話はとても聞き取りやすくなります。NHKの技術協力を得て、ビクターはこの原理をテレビに応用しました。話し始めのスピードを実際よりも遅くして、徐々に実際の速度に戻していくことで、声の質を変えずに、テレビの会話が聞き取りやすくなります。

➔ 42ページ

6つのモードから選べる「明暗ボタン」。

お好みに応じた画質と音質をワンボタンで同時設定。

お好みの画質と音質をボタンひとつで切り換えることができます。
MaxxAudioのきめ細かなサウンドと画像処理の組み合わせを、楽しみたいコンテンツに合わせて、手軽に選ぶことができます。

➔ 43ページ

画質と消費電力を自動制御。「エコセンサー」の２つの機能

部屋に応じて画面の明るさを調整する「E.E.センサー」

本体のセンサーが室内の明るさの変化を感知し、画面の明るさやコントラストを自動的に調整してくれます。目にやさしく、節電効果もある機能です。

画面のまぶしさを抑える「オートピクチャー」

画面の平均輝度をGENESSAが検出して、明るいシーンが多いときはバックライトをコントロール。画面のまぶしさを抑えます。

➔ 43ページ

新聞のテレビ欄と同じで見やすい。「テレビ番組ガイド」

地上波もBSも番組表が便利。

地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送に対応したテレビ番組表を、新聞の番組欄のように表示します。
縮小・拡大機能を使えば見たい番組が簡単に見つかります。

➔ 40ページ

もくじ

6 安全上のご注意

はじめる

12 準備
15 テレビを見る準備をする
19 テレビ放送を見るための設定
23 外部機器を接続する
31 基本の操作
33 「お助けガイド」を使おう
38 「リモコンガイド」を使おう

楽しむ

40 番組表で番組を探す
42 便利な機能
44 インターネットを楽しむ — アクトビラ
45 SDカードの画像を見る
46 メニュー操作

知る

52 故障かな？と思ったら
56 こんなメッセージが出たら
58 主な仕様
60 保証とアフターサービス
63 索引

・イラストは主にLT-32LC305-Bのものを使用しています。

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容	⚠注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意　感電注意　ケガに注意　手を挟まれないように注意

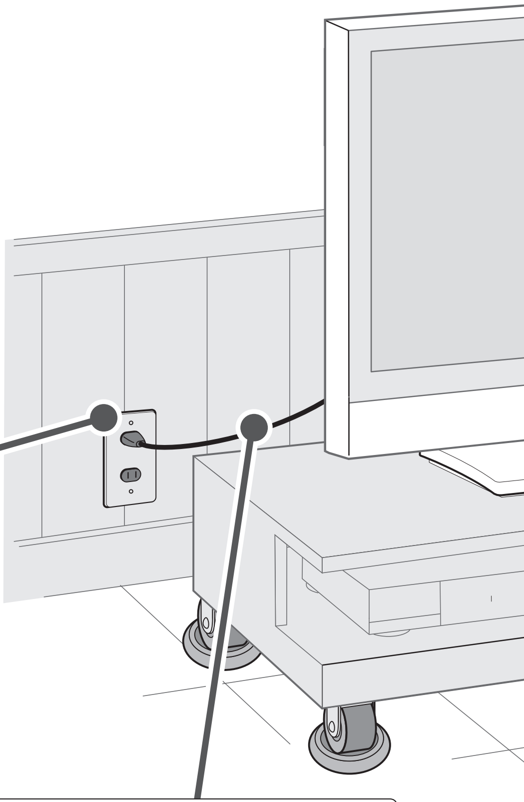
禁止されていること

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水場での使用禁止

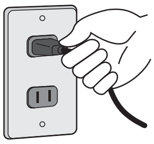
実行して欲しいこと

プラグをコンセントから抜く

⚠警告 設置・使用

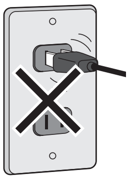


電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む



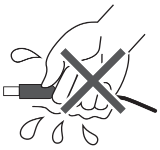
一般的注意

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

禁止

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

禁止

表示された電源電圧（交流100V)以外で使用しない

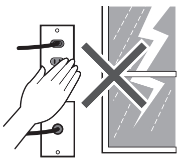
禁止

電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

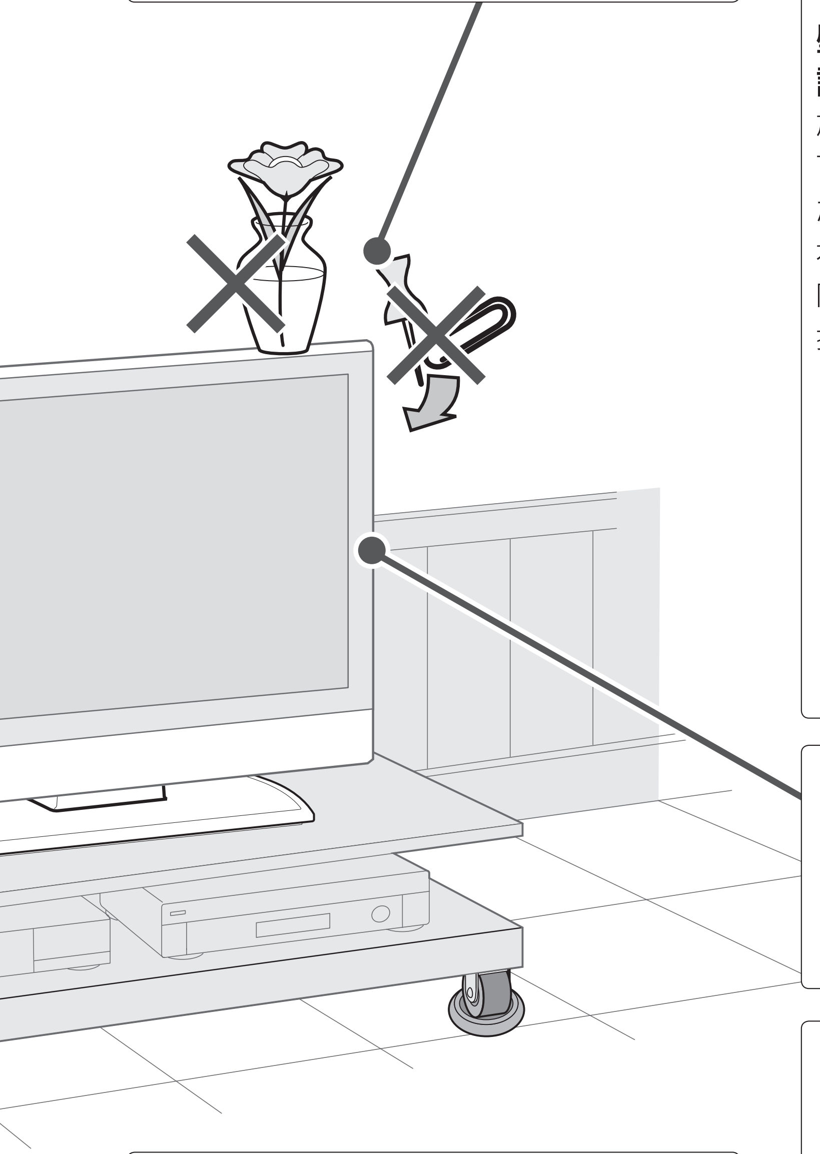


感電注意

この機器の上に水の入ったものを置かない 禁止

内部に物を入れない 禁止

感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。



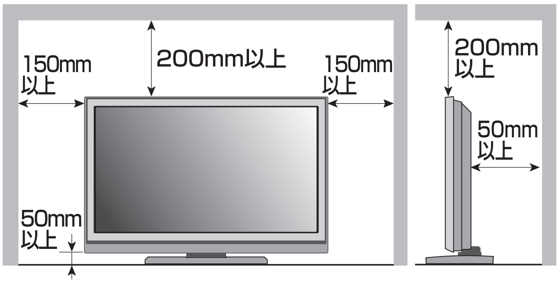
この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり改造しない 分解禁止

不安定な場所に置かない 禁止

壁や他の機器と間隔をあけて設置する 一般的注意

放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。

本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。



通風孔をふさがない 禁止

- 押し入れ、本箱などの上に置かない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまにしない

風呂場などの水のある場所で使わない 水場での使用禁止

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける 一般的注意

本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り/切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

万一異常が発生したときは

- ●煙が出ている、異臭がする。
- ●画面が映らない、音が出ない。
- ●内部に水や物が入ったとき。
- ●落下などにより破損したとき。
- ●電源コードが傷んだとき。

▶ 電源スイッチを切る。
電源プラグをコンセントから抜く。

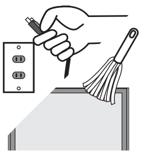
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

⚠注意 設置・使用

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類を外す

プラグをコンセントから抜く

すべてのランプが消えていても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると、本機には電力が供給されています。完全に電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間、音が歪んだ状態で使わない

禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

一般的注意

テレビは重いので、必ず2人以上で持つ

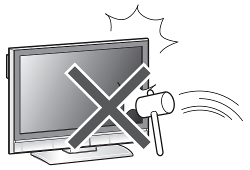
一般的注意

電源コード、接続ケーブルは引っかからないように本体後面で束ね、壁、床などのすみに配置する

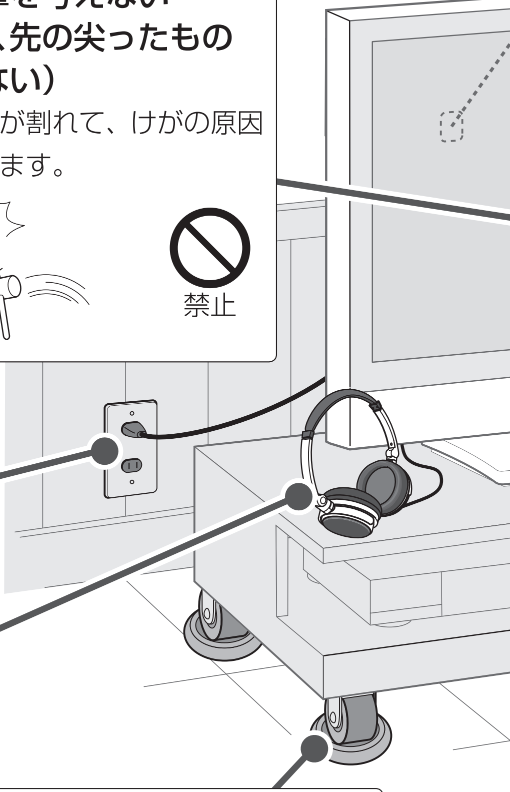
一般的注意

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。



禁止



キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

キャスターにストッパー機能があるときは、必ずストッパーをロックしてください。

一般的注意

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

健康のため、1時間ごとに10分～15分の休憩をとり、目を休めてください

一般的注意

1年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください

一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください

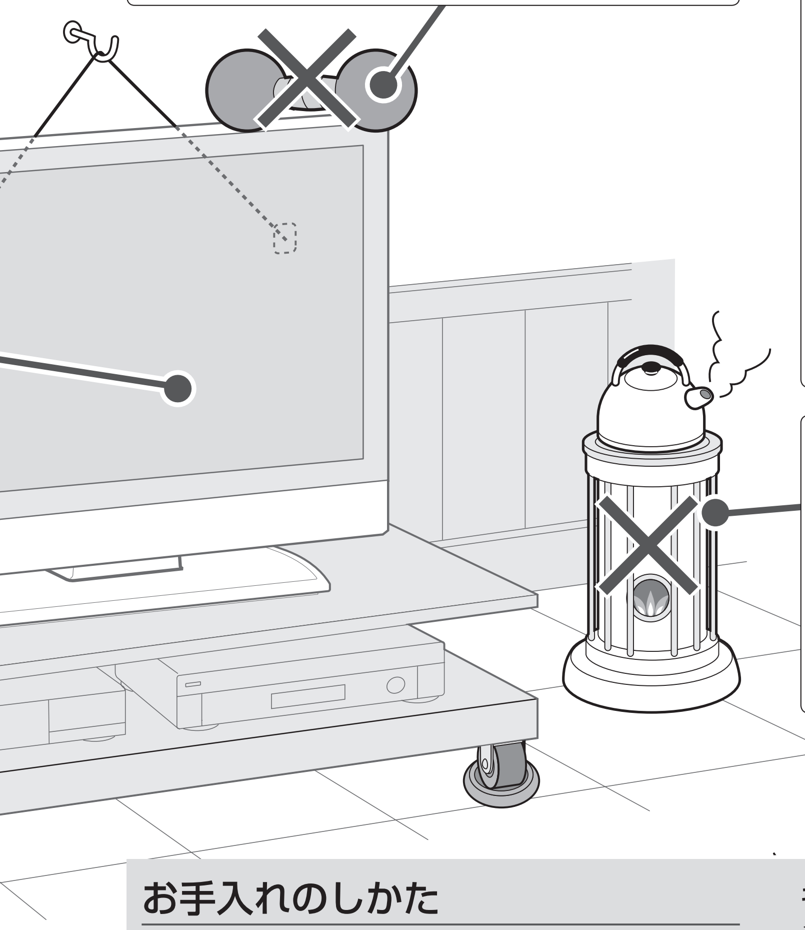
一般的注意

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

禁止

この機器の上に重い物を置かない

禁止

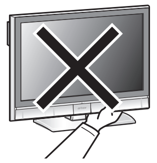


工具はそれぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用する

ケガに注意

本体パネルの下部を持って前後に傾けない

本体パネル部分の下側中央部を持たないでください。指が挟まれて、けがの原因となることがあります。
また、無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。



ケガに注意

手を挟まれないように注意

次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

禁止

お手入れのしかた

画面のよごれは

画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。

- 画面にのりやテープなどを貼らない
- 画面にペンなどで書き込みをしない
- 画面を硬いものにぶつけない
- 画面を結露させない
- 画面をアルコールなどの溶剤などでふかない
- 画面を強くこすらない

画面のよごれを取り除く場合には、柔らかい布またはクリーニングクロスを使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

キャビネットのよごれは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない

通気孔に付着したほこりは

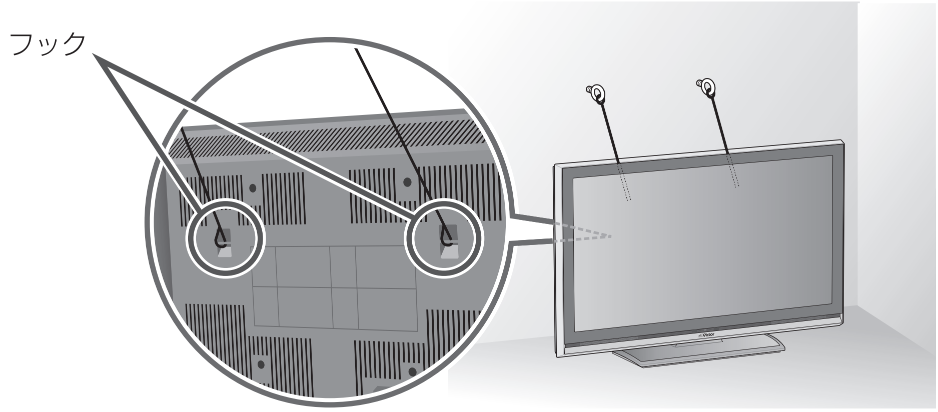
本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

⚠注意 設置・使用

地震等での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

壁または柱などに固定するとき

本体後面のフックに、市販の丈夫なひもなどを結び、壁面や柱など堅牢部に固定してください。



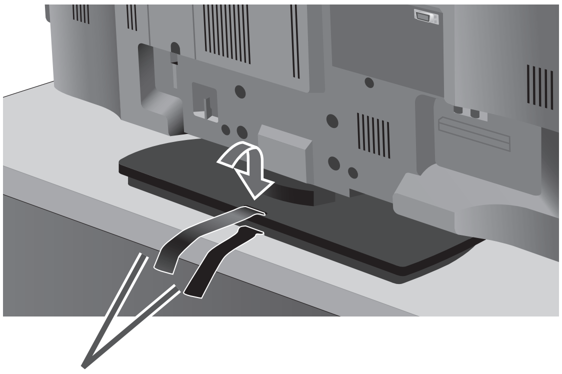
壁にかけるとき

本機を壁にかけて使用するときは、必ず専用の角度調節可能ウォールマウントユニット（別売）をご使用ください。

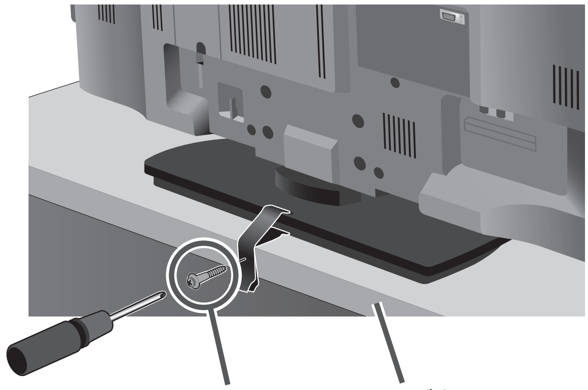
壁掛けユニットの据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または販売店に、ご依頼ください。

テレビ台に固定するとき

1 本体スタンド後面にあるバンド用の穴に固定用バンド（付属）を通す



2 固定用バンドの長さをそろえ、プラスドライバーを使ってネジ（付属）でテレビ台などに固定する



※説明図は実際の外観と異なることがあります。

はじめる

12　準備

15　テレビを見る準備をする
19　テレビ放送を見るための設定

23　外部機器を接続する
31　基本の操作

33　お助けガイドを使おう

36　お助けガイドの項目一覧

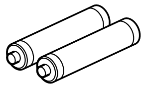
38　「リモコンガイド」を使おう

準備

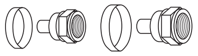
付属品

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。（➔ 60、61ページ）

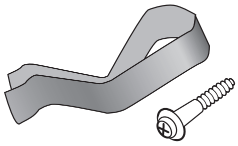
リモコン
(RM-2210)



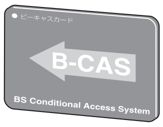
単3形乾電池
(動作確認用)



地上アナログアンテナ用F型接栓
（4Cタイプ/5Cタイプ）



固定用バンド、
バンド用ネジ

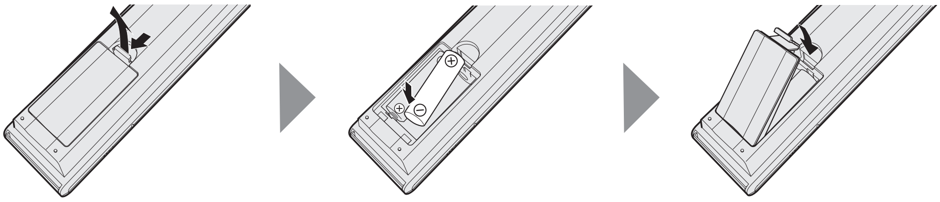


B-CASカード

取扱説明書、
かんたん設置・設定ガイド、
保証書、その他の印刷物

リモコンに電池を入れる

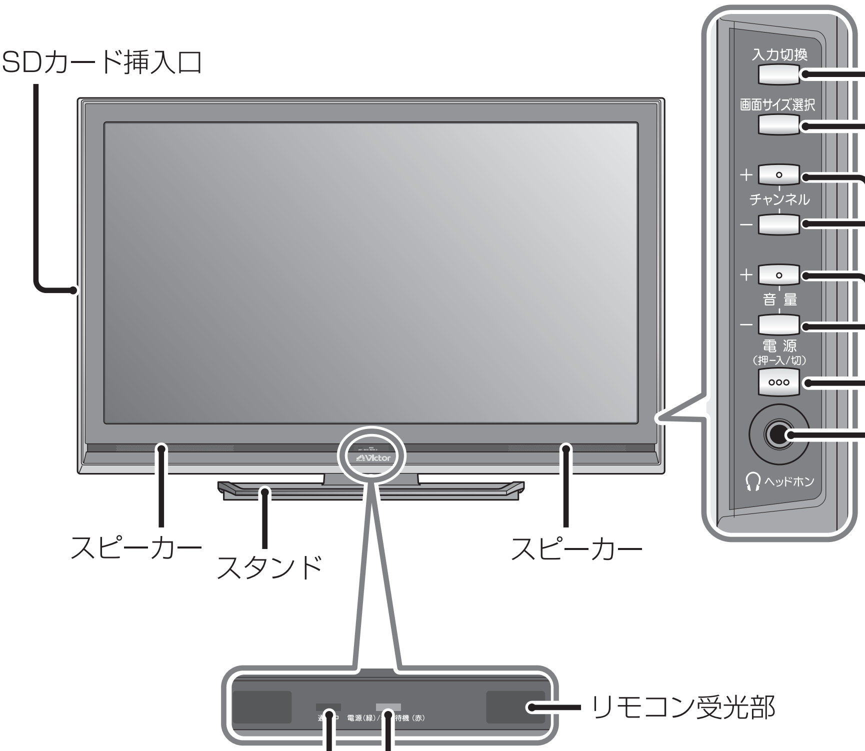
ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。



- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年使えます。
- 付属の電池は動作確認用です。

本体

258

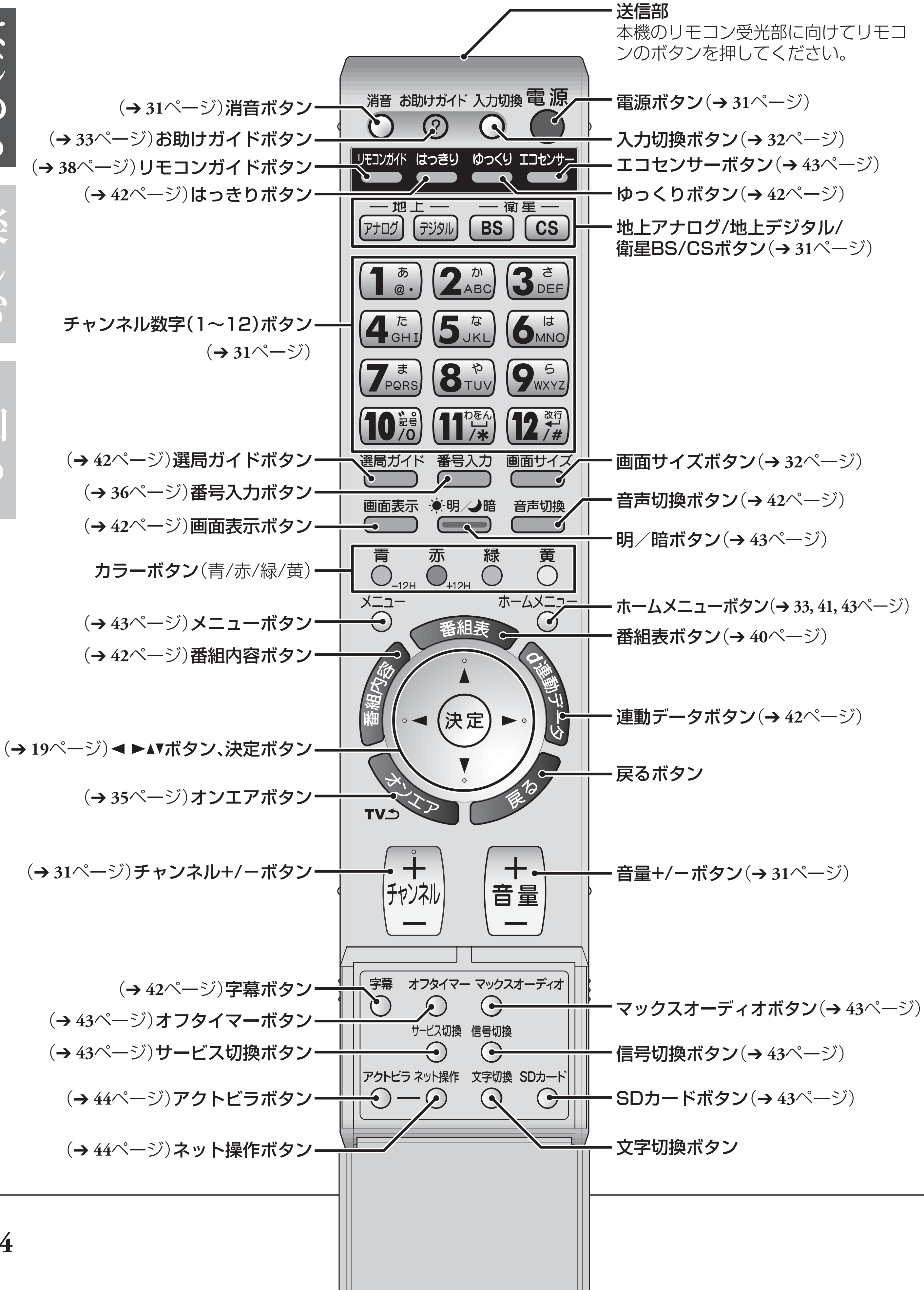


画面の角度を調節するときは

左右それぞれに20度以内で調節できます。スタンドと本体パネルの側面をしっかりと押さえながら、ゆっくりと傾けてください。

設置

6〜**10**ページをよくお読みのうえ、正しく設置してください。


送信部
本機のリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押してください。
(➔ 31ページ)消音ボタン
(➔ 33ページ)お助けガイドボタン
(➔ 38ページ)リモコンガイドボタン
(➔ 42ページ)はっきりボタン
電源ボタン(➔ 31ページ)
入力切換ボタン(➔ 32ページ)
エコセンサーボタン(➔ 43ページ)
ゆっくりボタン(➔ 42ページ)
地上アナログ/地上デジタル/衛星BS/CSボタン(➔ 31ページ)
チャンネル数字(1～12)ボタン
(➔ 31ページ)
(➔ 42ページ)選局ガイドボタン
(➔ 36ページ)番号入力ボタン
(➔ 42ページ)画面表示ボタン
画面サイズボタン(➔ 32ページ)
音声切換ボタン(➔ 42ページ)
明／暗ボタン(➔ 43ページ)
カラーボタン(青/赤/緑/黄)
(➔ 43ページ)メニューボタン
(➔ 42ページ)番組内容ボタン
ホームメニューボタン(➔ 33, 41, 43ページ)
番組表ボタン(➔ 40ページ)
連動データボタン(➔ 42ページ)
(➔ 19ページ)◄ ►▲▼ボタン、決定ボタン
(➔ 35ページ)オンエアボタン
戻るボタン
(➔ 31ページ)チャンネル+/−ボタン
音量+/−ボタン(➔ 31ページ)
(➔ 42ページ)字幕ボタン
(➔ 43ページ)オフタイマーボタン
(➔ 43ページ)サービス切換ボタン
(➔ 44ページ)アクトビラボタン
(➔ 44ページ)ネット操作ボタン
マックスオーディオボタン(➔ 43ページ)
信号切換ボタン(➔ 43ページ)
SDカードボタン(➔ 43ページ)
文字切換ボタン
消音 お助けガイド 入力切換 電源
リモコンガイド はっきり ゆっくり エコセンサー
地上 衛星
アナログ デジタル BS CS
選局ガイド 番号入力 画面サイズ
画面表示 明／暗 音声切換
青 赤 緑 黄
−12H +12H
メニュー ホームメニュー
番組表
番組内容
d 連動データ
決定
オンエア
戻る
TV
チャンネル
音量
字幕 オフタイマー マックスオーディオ
サービス切換 信号切換
アクトビラ ネット操作 文字切換 SDカード

テレビを見る準備をする

アンテナの接続からはじめの設定まで

1 アンテナを接続する ➔ 下記

2 電話線をつなぐ ➔ 17ページ

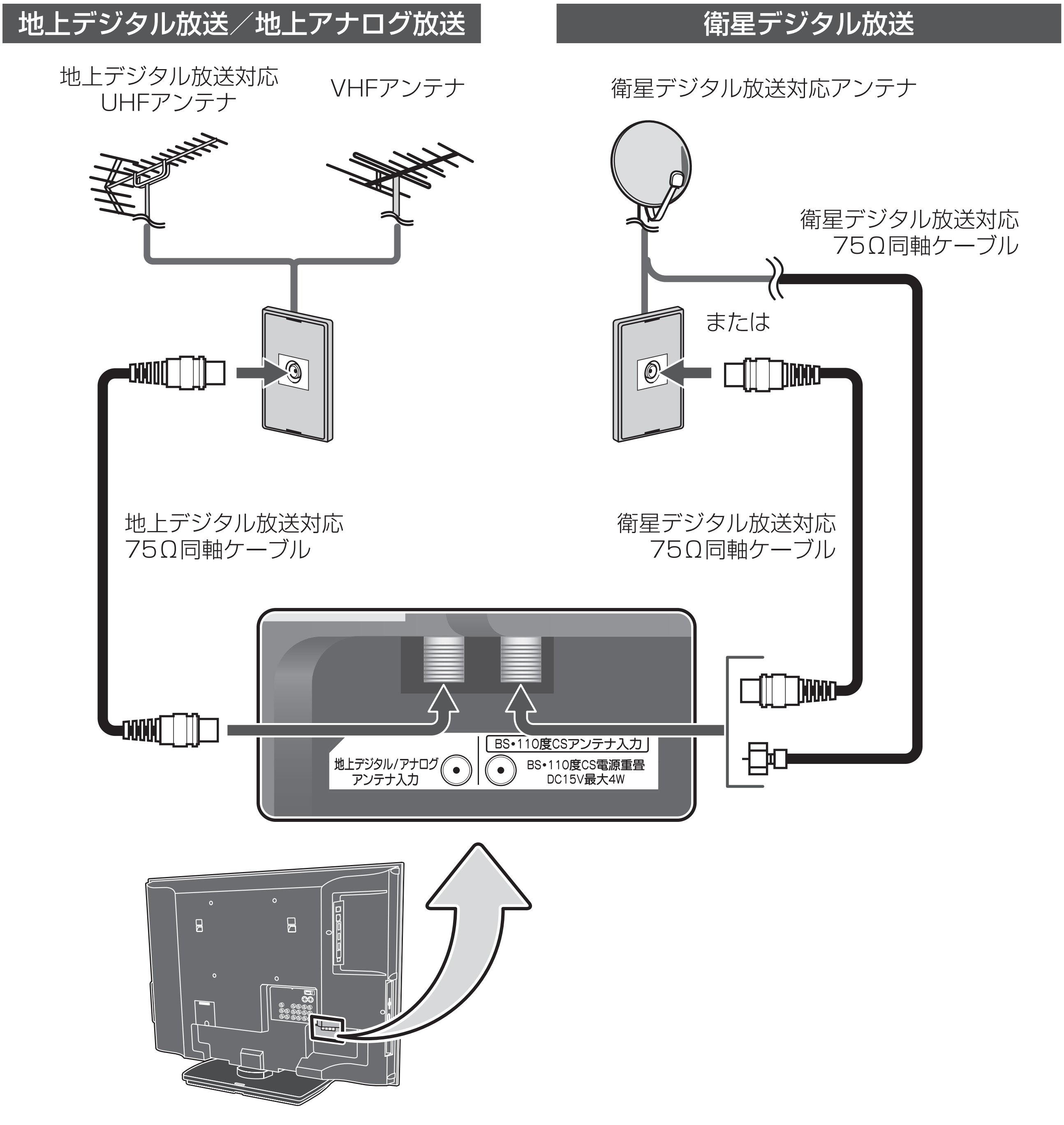
3 B-CASカードを入れる ➔ 18ページ

4 初期設定をする ➔ 19ページ

アンテナの接続

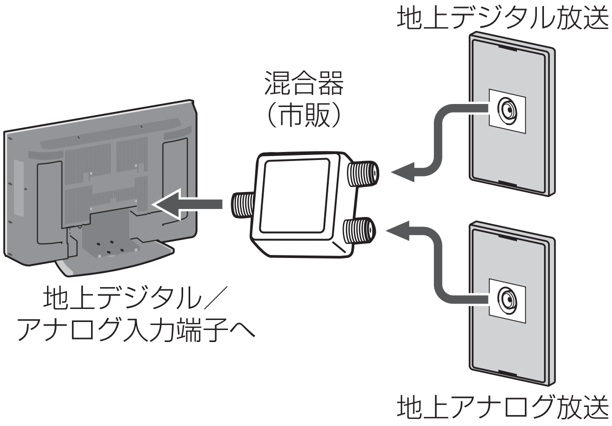
260 別紙の「かんたんガイド」もご覧ください。

ご覧になりたい放送に応じてアンテナを接続してください。

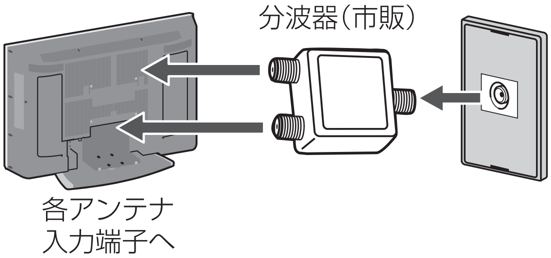


アンテナの配線状況によっては市販の混合器または分波器が必要です。

● 地上アナログ放送(VHFとUHF)と地上デジタル放送が別々に配線されているとき

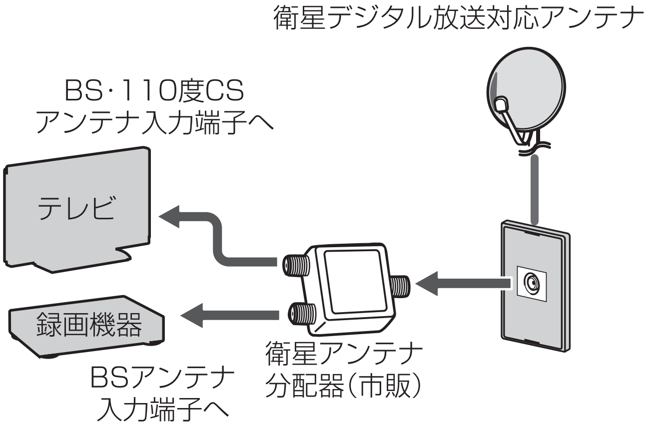


● すべての放送のアンテナが混合されているとき

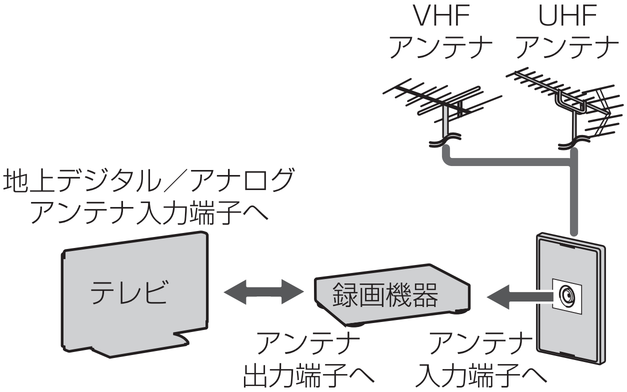


チューナー内蔵の録画機器を接続するとき

● BSアナログチューナー内蔵の録画機器をつなぐときは



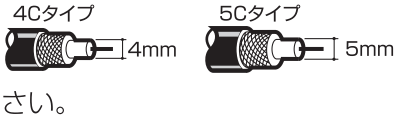
● 地上アナログチューナー内蔵の録画機器をつなぐときは



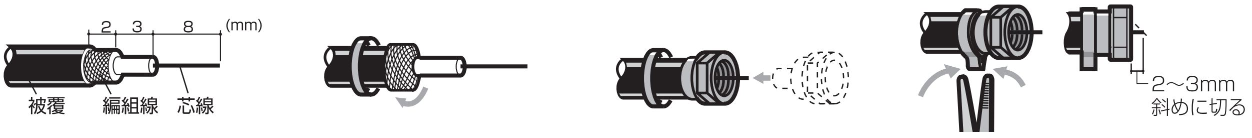
F型接栓（付属）のつなぎかた（地上アナログアンテナ用）

2種類のF型接栓（4C、5C）を付属しています。お使いのときはケーブルの太さに合わせたタイプをご使用ください。

・ 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなるので、使わないでください。
　またアンテナ線の接続には、付属のF型接栓をお使いください。
・ 芯線と編組線が接触しないようにしてください。
・ ケーブルの先端を処理するときは、芯線に傷をつけないようにしてください。
・ リングは、必ず被覆の上で締めてください。



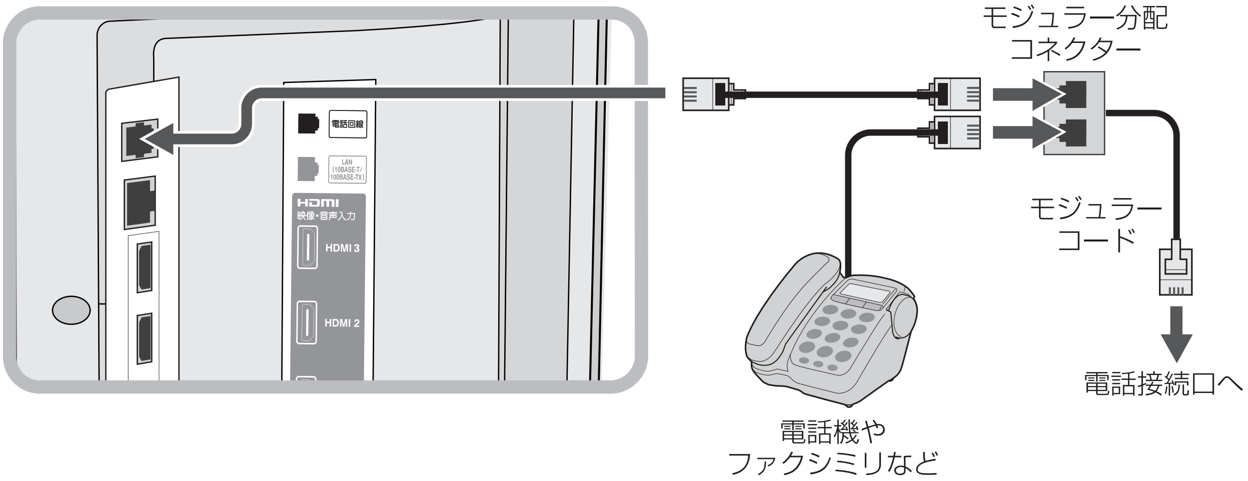
1 ケーブルを加工する　**2** リングをとおす　**3** コネクターを差し込む　**4** リングをペンチで締める



電話の接続 261

電話線を接続すると、デジタル放送の有料番組を購入したり、クイズやアンケートへの回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加できます。

下の接続図は一例です。ご家庭のネットワーク環境に応じて変更してください。



電話接続に関する設定

・メニュー操作について➔ **46**ページ

●**電話の設定**

設定メニュー ➔ 設置設定 ➔ デジタル放送共通設定 ➔ 電話の設定 151

電話回線の接続に関する設定をします。

電話回線の種類	電話回線の種類を設定します。(通常は「自動」に設定します)	自動、ダイヤル回線(10PPS)、ダイヤル回線(20PPS)、プッシュ回線
外線発信番号の設定	外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときに設定します。	外線発信番号を入力して設定する
ダイヤルポーズの設定	外線発信番号を出力後の、休止時間挿入を設定します。	する、しない
ダイヤルトーン検出の設定	電話の発信時の、ダイヤルトーン検出を設定します。	する、しない
B-CASセンター接続の設定	B-CASカード情報や有料番組購入情報などの、センターへの自動送信を設定します。	自動、切り
番号通知の設定	電話番号の通知を設定します。	なし、通知する、通知しない
電話会社の設定	接続する電話会社を設定します。	マイラインプラスの加入、電話会社の番号を設定する
電話のテスト	電話回線が正しく設定されているかテストします。	
終了	電話の設定を終了します。	

B-CASカードを入れる

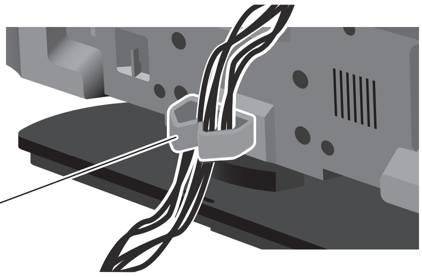
001

デジタル放送を楽しむにはB-CASカードが必要です。B-CASカードが本機に挿入されていないと、デジタル放送を受信できません。B-CASカードを本機に挿入したままでご使用ください。

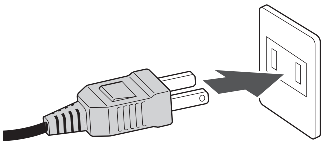
B-CASカードはこの製品に同梱されています。

- ご使用になる前に台紙裏面の使用許諾契約約款をよくお読みください。
- B-CASカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。破損・紛失などにより再発行を依頼されるときは再発行費用がかかります。B-CASカード（またはB-CASカードの台紙）に記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。

コードをまとめる


コードホルダー

電源コードをつなぐ

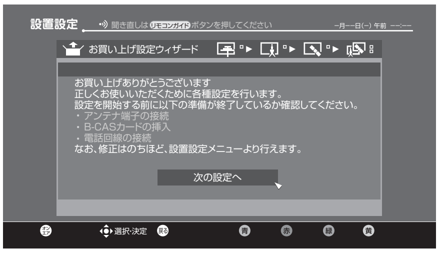


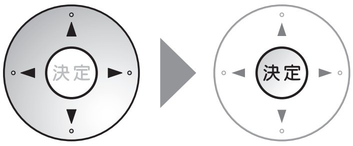
電源を入れると「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。 ➔ 次ページ

テレビ放送を見るための設定

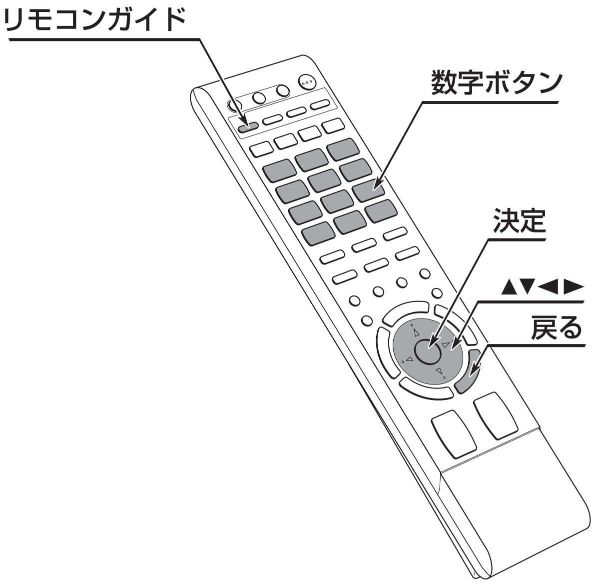
お買い上げ設定ウィザード

初めて電源を入れると、「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。テレビ放送を見るために必要な設定を行いますので、画面の指示と音声案内に従って進めてください。



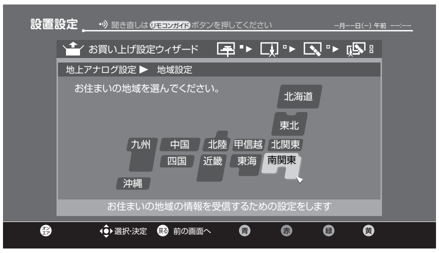


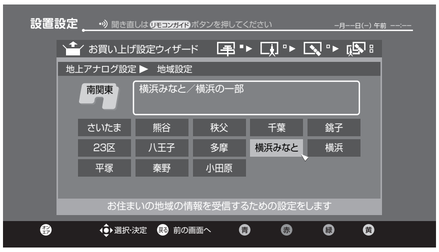
・**戻るボタン**を押すとひとつ前の画面に戻れます。
・**リモコンガイドボタン**を押すと音声案内を聞き直すことができます。
・「簡単設定ウィザード」で同様の項目を設定できます。
➔ **46**ページ



1 お住まいの地域を設定する

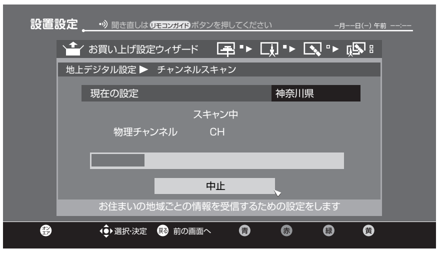
お住まいの地域を選択してください。
地上アナログ放送のチャンネルが、お住まいの地域に合わせて自動的に登録されます。





2 地上デジタル放送の受信確認

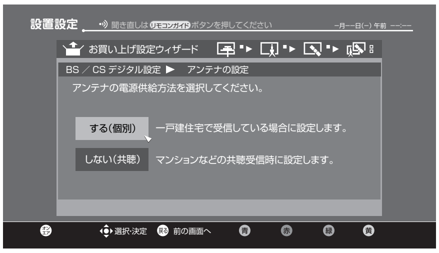
地上デジタル放送でどのようなチャンネルが受信できているか確認して登録します。スキャンが完了するまでしばらくお待ちください。



３「アンテナの設定」へ

3 衛星アンテナの設定をする

衛星アンテナに電源を供給するかどうか選択してください。



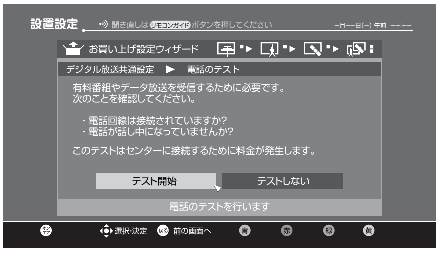
「する(個別)」：ご自宅で個別に衛星アンテナを設置している場合など、本機に直接衛星アンテナをつないでいるときに選びます。
「しない(共聴)」：マンションなどで共聴システムをお使いのときや、BSアナログチューナー内蔵の録画機器から電源を供給しているときに選びます。

4 郵便番号を設定する

数字ボタンを使ってお住まいの地域の郵便番号を入力してください。
お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報など)を受信できるようになります。

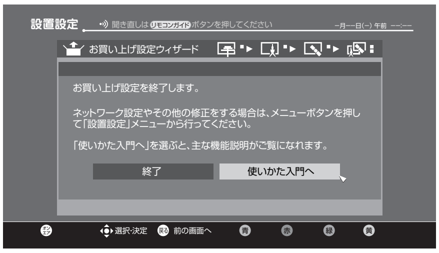
5 電話回線の接続をテストする

電話回線を使って正しく通信できるかを確認します。



これでお買い上げ設定は終了です。

「使いかた入門へ」を選ぶと本機の特長をご紹介します。



うまく映らないときは

まったく映らない！

- アンテナは正しくつながっていますか？
- 放送に対応したアンテナやケーブル、分配器·分波器を使っていますか？
- B-CASカードは入れましたか？➔ **18**ページ

きれいに映らない！

- アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか?
- アンテナの向きは調整しましたか？
  ➔ **21**ページ「アンテナの設定」で受信感度を確認できます。

画像の端が切れてる！

- 故障ではありません。**画面サイズボタン**で表示される画面の大きさを選択してください。➔ **32**ページ

テレビ放送に関する設定

お買い上げ設定ウィザードのあと、設定を変更・調整したい場合は**設定メニュー ➔ 設置設定**から以下の設定を行なってください。

- メニュー操作について➔ **46**ページ

■ 地上デジタル設定

地域設定	お住まいの地域の情報を受信するための設定をします。
チャンネルスキャン	お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して設定します。引っ越したとき、新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変わったときに行います。
チャンネルの設定	**数字ボタン**で選べる受信チャンネルを変更したり、空きチャンネルに受信できるチャンネルを割り当てたりすることができます。
アンテナの設定	地上デジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。良好に受信するための受信レベルの目安は50以上です。目安値以下の場合でも、お客様の環境で数値が最大になるようにアンテナの向きを調整してください。 ・ お助けガイドボタンを押すと詳しい説明が表示されます。

■ BS/CSデジタル設定

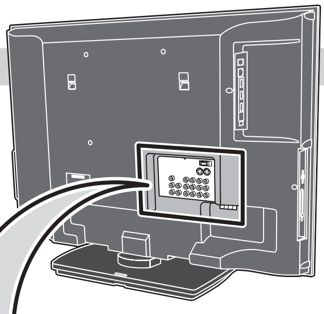
アンテナの設定	衛星アンテナへの電源供給をするかしないかを設定します。 BS/CSデジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。良好に受信するための受信レベルの目安は45以上です。目安値以下の場合でも、お客様の環境で数値が最大になるようにアンテナの向きを調整してください。 ・ お助けガイドボタンを押すと詳しい説明が表示されます。	する(個別)、しない(共聴)
番組表の設定	番組表を受信するための放送局を設定します。	
受信チャンネル	番組表を受信する放送局が表示されます。	
Gガイド受信地域の設定	お住まいの地域に合わせて、番組表に表示する放送局を設定します。	
Gガイド受信確認	番組データを受信する時刻を確認できます。BS・110度CSデジタルアンテナが接続されていないとデータが受信できません。	
BS選局ガイドチャンネルの設定 **CS選局ガイドチャンネルの設定**	リモコンの**数字ボタン**で選局できる衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。	登録したいリモコン番号と登録するチャンネル番号を▲▼◄►**ボタン**で選んで設定する
衛星情報の設定	デジタル放送局から電波を受信するための設定をします。	BS:15、CS1:2、CS2:4 通常は変更しないでください

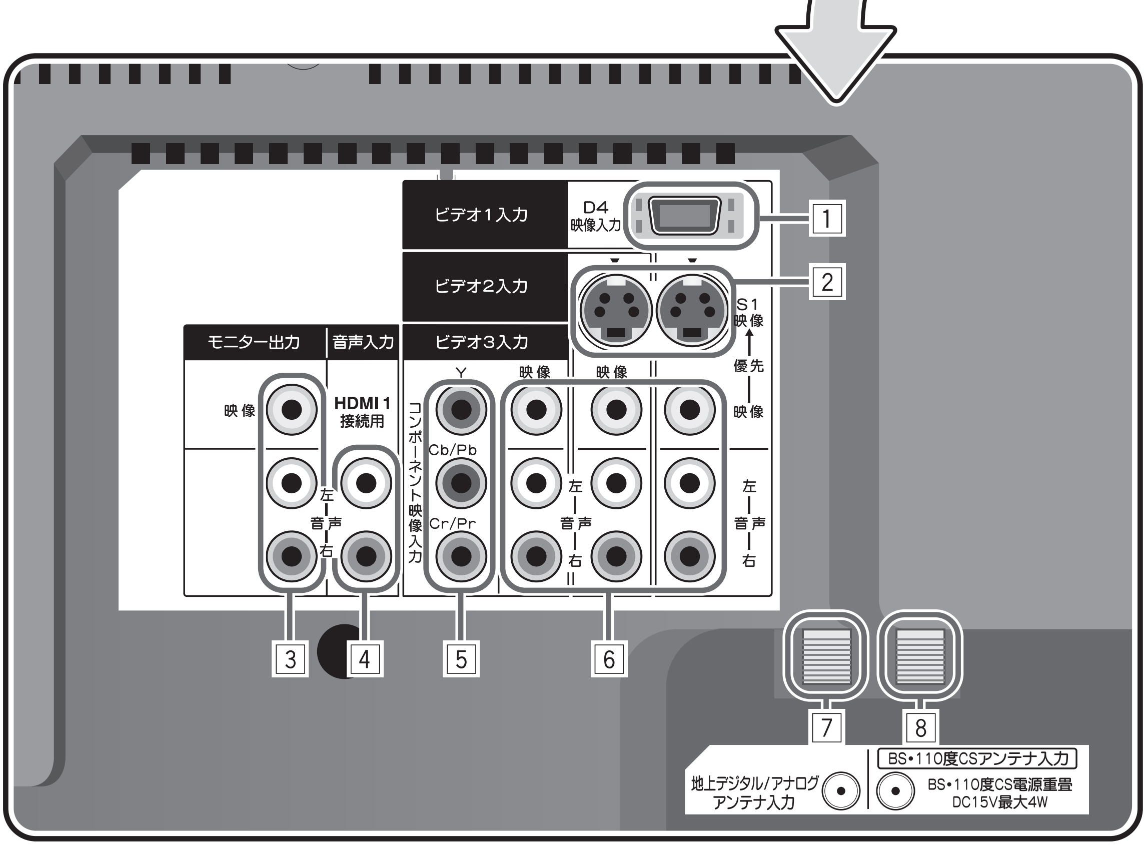
■ 地上アナログ設定

地域チャンネル合わせ		お住まいの地域で受信できるチャンネルを自動的に探して設定します。	
チャンネルの設定		1～12の**数字ボタン**ごとに、見るチャンネルを設定します。	
	見るチャンネル	**数字ボタン**を押したときに受信するチャンネルを設定します。	1～62、C13～C38
	画面の表示	選局時の画面表示の設定をします。	1～62、C13～C38
	＋－ボタンの選局	空きチャンネルを**チャンネル+/－ボタン**で選べないようにする設定（チャンネルスキップ）をします。	見る、スキップ
	受像微調節画面	映像がもっともきれいになるように調整します。	
CATV選局方式の設定		CATVをご覧になるときに設定します。チャンネル番号を直接入力して選局できます。	12ボタン方式、数字入力方式
CATVチャンネルの設定変更		CATVのチャンネル設定を変更します。選局方式で、「数字入力方式」を選んでいるときに設定します。	
	設定するチャンネル	設定を変更したいチャンネルを選びます。	
	＋－ボタンの選局	空きチャンネルを**チャンネル+/－ボタン**で選べないようにする設定（チャンネルスキップ）をします。	見る、スキップ
	受像微調節画面	映像がもっともきれいになるように調整します。	
放送局名設定		番組表を表示するために、放送局名を設定します。	

外部機器を接続する

各端子のはたらき





1 **D4映像端子**
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのD4出力端子に接続して映像を入力します。➔ 27ページ

2 **S1映像端子**
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのS1映像出力端子に接続して映像を入力します。➔ 28ページ

3 **モニター出力端子（映像・音声）**
モニターや録画機器などの入力端子に接続します。➔ 25ページ

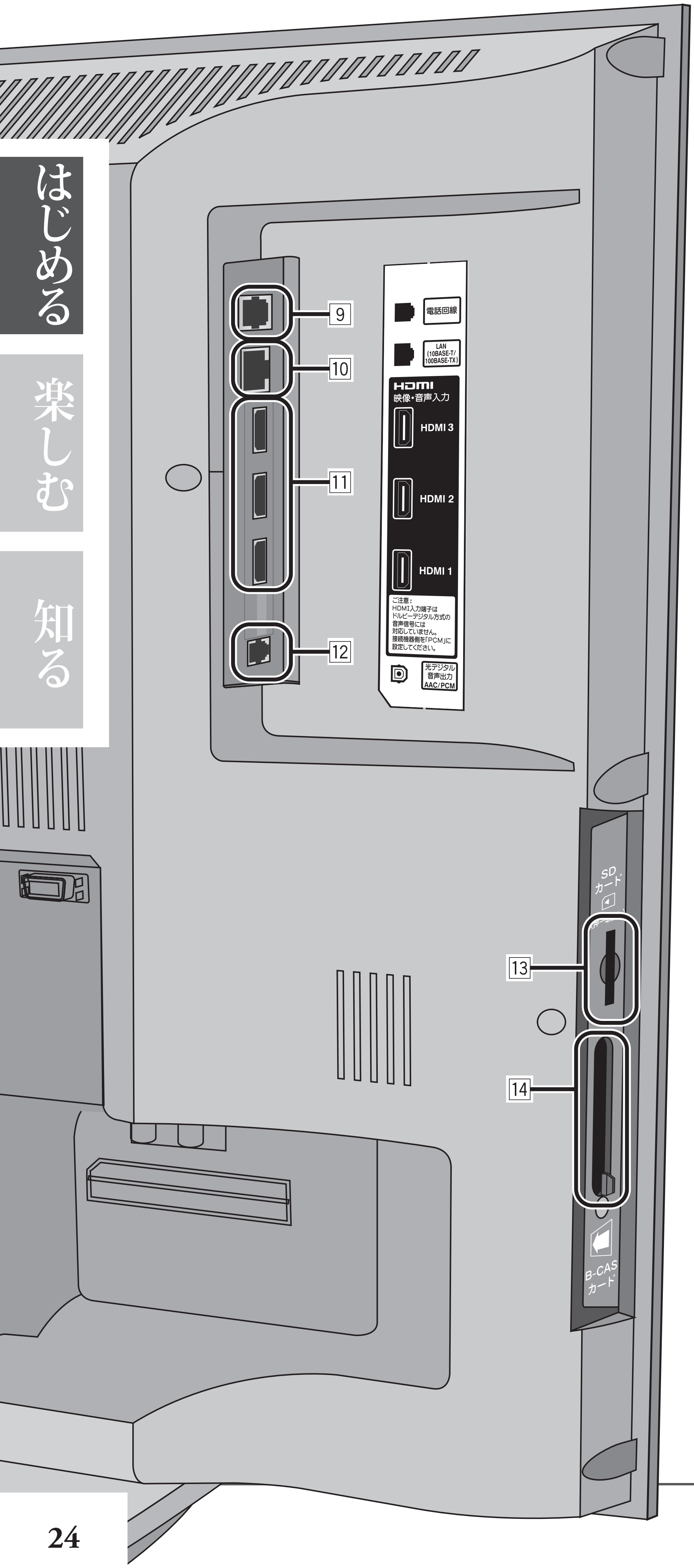
4 **HDMI1接続用音声入力端子**
DVI機器をHDMI1端子に接続したときに音声信号を入力します。➔ 26ページ

5 **コンポーネント映像入力端子**
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのコンポーネント映像出力端子に接続して映像を入力します。➔ 27ページ

6 **映像・音声入力端子**
ビデオデッキやゲーム機などの映像・音声出力端子に接続します。➔ 28ページ

7 **地上デジタル／アナログアンテナ入力**
地上デジタル放送と地上アナログ放送のアンテナを接続します。➔ 16ページ

8 **BS・110度CSアンテナ入力**
BSデジタル放送と110度CS放送のアンテナを接続します。➔ 16ページ



⑨ **電話回線端子**

電話回線に接続します。➔ **17**ページ

⑩ **LAN端子**

インターネットに接続します。➔ **30** ページ

⑪ **HDMI端子(1,2,3)**

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのHDMI出力端子に接続します。➔ **26**ページ

⑫ **光デジタル音声出力端子**

アンプなどの音声入力端子に接続します。➔ **29**ページ

⑬ **SDカード挿入口**

SDカードを入れます。➔ **45**ページ

⑭ **B-CASカード挿入口**

B-CASカードを入れます。➔ **18** ページ

録画機器の接続

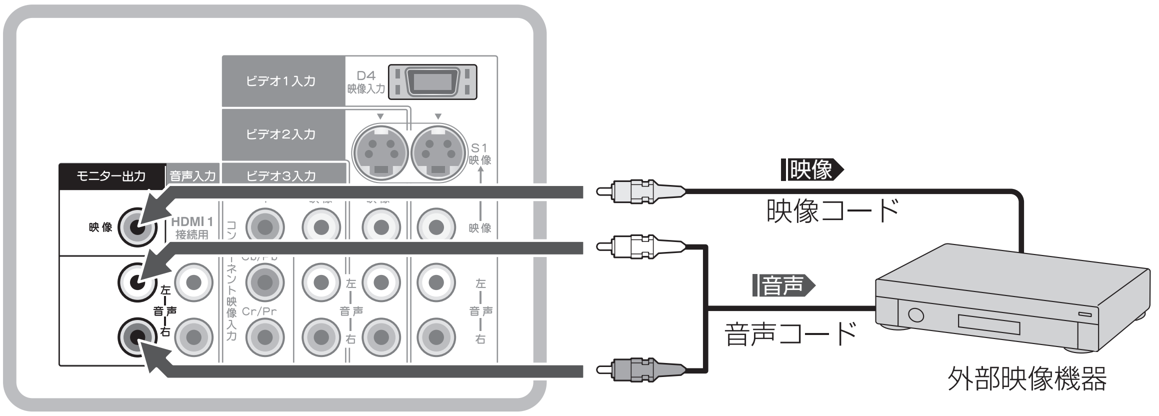
テレビで受信した映像と音声を外部機器に送るための接続です。

本機の映像をつないだ機器で録画するときのご注意

- 本機の電源が入っているときのみ、信号が出力されます。本機の電源を切ると、つないだ機器側では何も録画されません。
- テレビ放送を見ているときは、**映像と音声の両方**が出力されます。
- 外部機器の映像を見ているときは、**音声のみ**出力されます。
- 見ている映像／音声を切り換えると、出力される映像／音声も切り換わります。
- 本機からは、録画予約の設定はできません。
- 見ている映像を録画するには、つないだ機器側で録画設定をしてください。
- お助けガイドなどを操作しているときは、映像／音声は出力されません。

マクロヴィジョン

著作権保護された番組をビデオなどで録画する場合、著作権保護のための機能が働いて、正常に録画できません。また、著作権保護された番組をビデオデッキを介して本機以外のTVモニターなどに接続して見た場合、映像が乱れることがあります。



映像／音声:映像信号／音声信号の流れる向き

映像出力に関する設定

・メニュー操作について➔ 46ページ

●映像出力画面の縦横比の設定

設定メニュー ➔ 設置設定 ➔ デジタル放送共通設定 ➔ 映像出力画面の縦横比の設定 290

本機の映像出力端子から出力される映像信号のサイズを設定します。

□**テレビ用:** 横縦比4:3の映像を出力します。

□**ワイドテレビ用:** 横縦比16:9の映像を出力します。

●ビデオ１入力信号のモニター音声

設定メニュー ➔ 接続設定 ➔ ビデオ１入力信号のモニター音声 289

ビデオ1の音声にノイズが入るときに、ビデオ1端子からの音声をモニター出力しないように設定します。

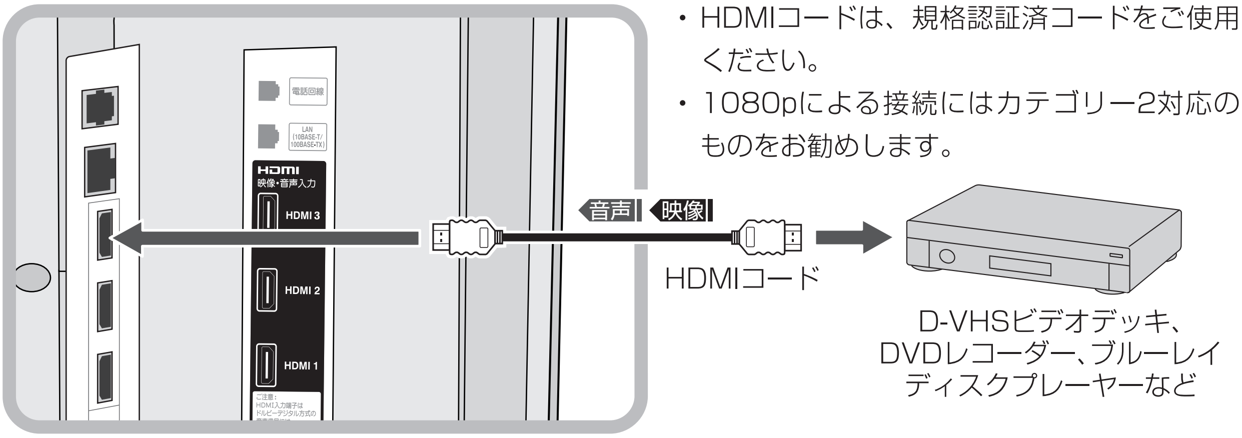
□**出力する:** モニター出力します。

□**出力しない:** モニター出力しません。ビデオ１の音声にノイズが入るときはこちらを選んでください。

HDMI機器の接続

256

HDMIコード１本で映像と音声を再生できます。



・HDMIコードは、規格認証済コードをご使用ください。
・1080pによる接続にはカテゴリー2対応のものをお勧めします。

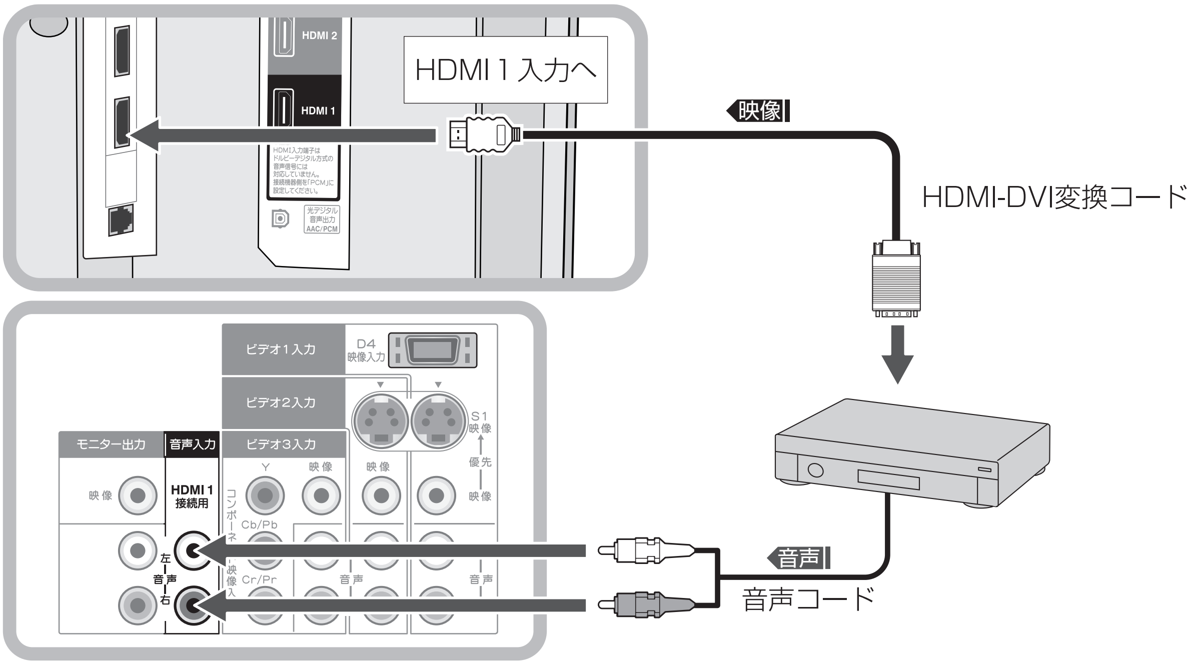
DVI機器の接続

256

DVI端子がある場合

HDMI-DVI変換コードをお使いください。

・本機のHDMI端子はパソコンからの映像・音声信号には対応していません。HDCP対応のパソコンを接続する場合でも動作は保証できません。



HDMI/DVIを使った接続に関する設定

・メニュー操作について➔ 46ページ

●HDMI１の音声入力端子

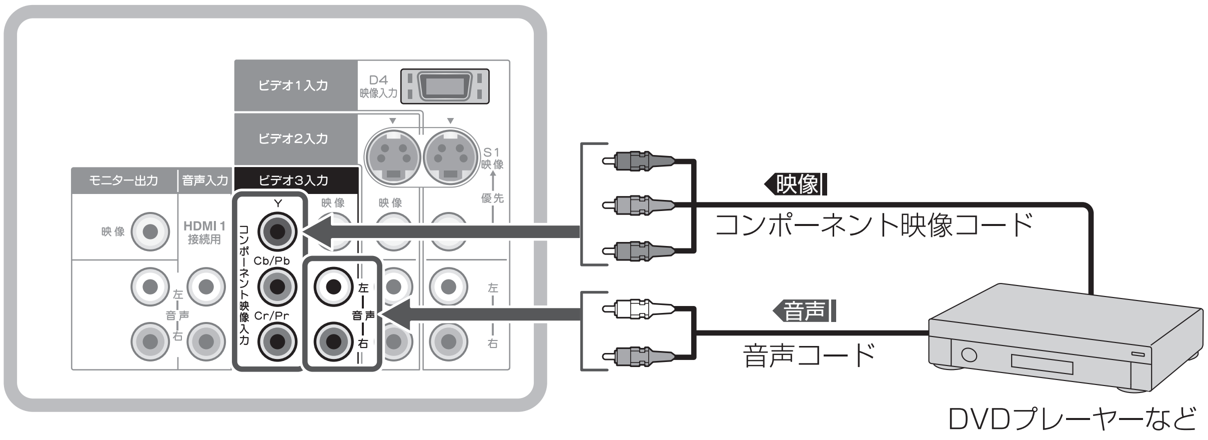
設定メニュー ➔ 接続設定 ➔ HDMIの設定 ➔ HDMI１の音声入力端子 174

HDMI1端子に接続した機器の音声信号の種類を選びます。

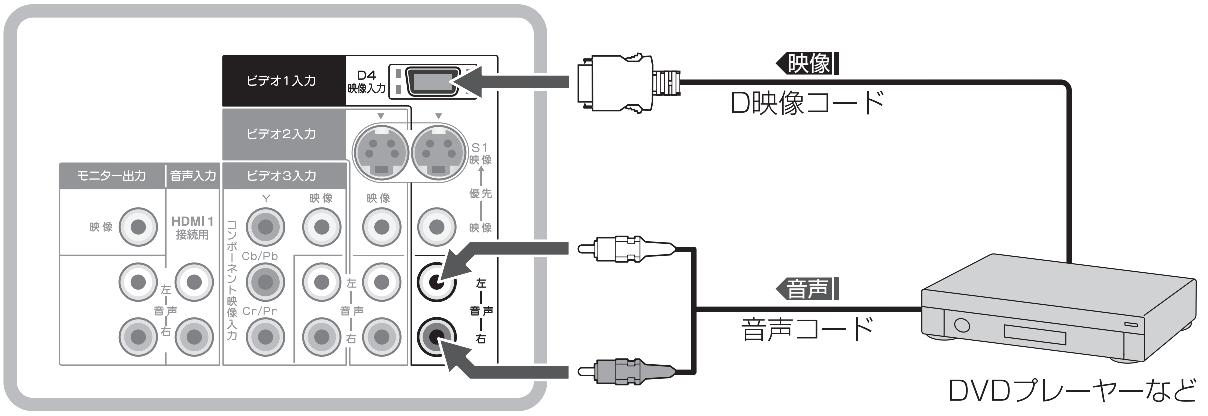
□**自動:** テレビが自動で判別して切り換えます。
□**HDMI端子:** HDMI機器を接続しているときに選びます。
□**アナログ端子:** DVI機器を接続しているときに選びます。

コンポーネント端子付き映像再生機器の接続 158

・お手持ちの機器にD映像出力やコンポーネント映像出力があるときは、D映像コードまたはコンポーネント映像コードでの接続をおすすめします。映像端子やS映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。



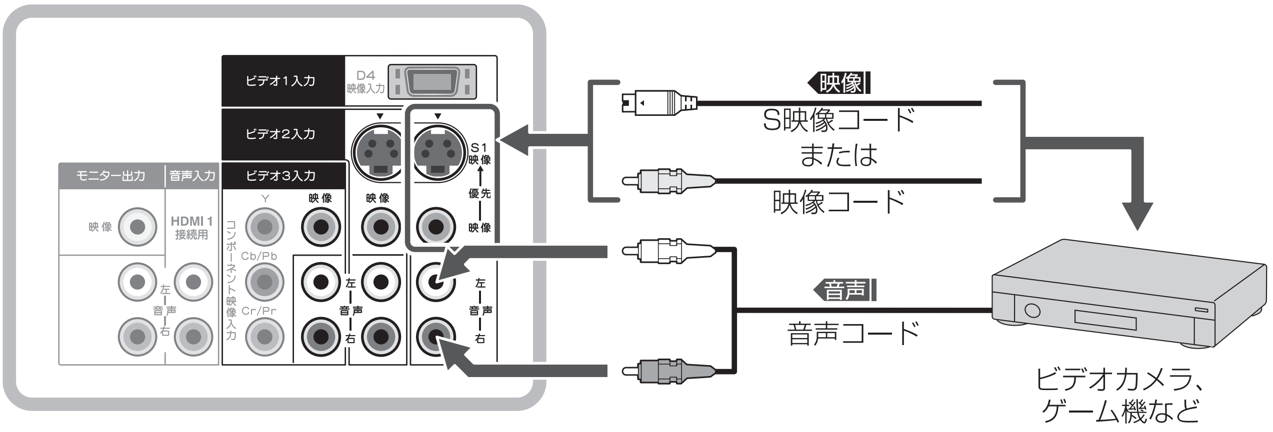
D端子付き映像再生機器の接続 245



映像／音声：映像信号／音声信号の流れる向き

S端子／映像端子付き映像再生機器の接続 167

・お手持ちの機器にS映像入出力端子があるときは、S映像コードでの接続をおすすめします。映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。



映像／音声:映像信号／音声信号の流れる向き

再生機器に関する設定

・メニュー操作について➔ 46ページ

●外部入力の表示設定

設定メニュー ➔ 接続設定 ➔ 外部入力の表示設定 168

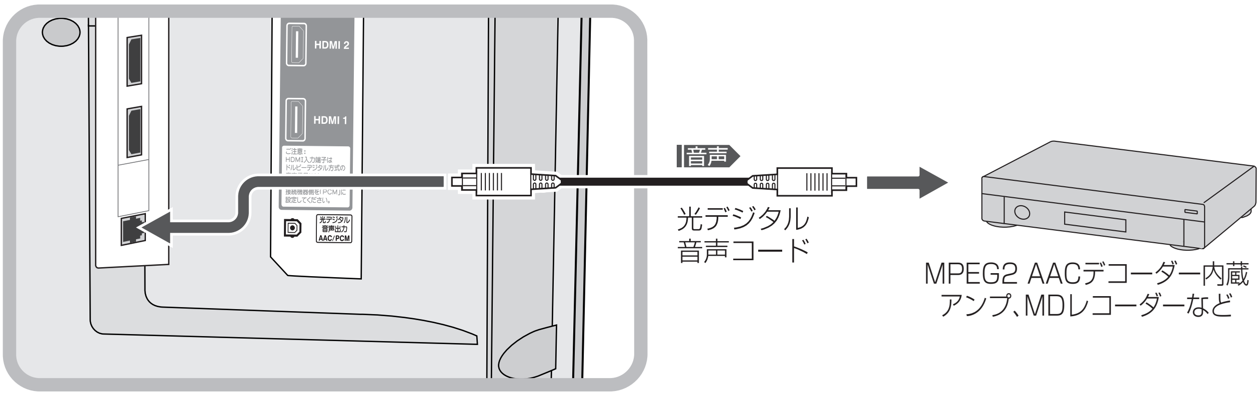
外部入力端子につないだ機器の入力表示を設定します。

表示	画面に表示される外部入力名を選びます。	ビデオ1～3、HDMI1～3、VTR、DVD、DVR1、DVR2、HDR、ムービー、CSデジタル、ゲーム
スキップ	リモコンの**入力切換ボタン**でその外部入力を選べるようにするかしないかを設定します。	見る、見ない

音声を出力する

164

MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプに接続して、マルチチャンネル音声の番組を楽しめます。また、MDレコーダーなどに接続して、デジタル音声をデジタルのまま録音することもできます。



- アンプを接続する場合は、本機の音量を「0」にして、アンプで音量を調節してください。
- MDレコーダーを接続する場合は、サンプリングレートコンバーターを内蔵しているMDレコーダーをお使いください。

音声出力に関する設定

・メニュー操作について➔ 46ページ

●光デジタル音声出力の設定

設定メニュー ➔ 接続設定 ➔ 光デジタル音声出力の設定 166

接続している機器に合わせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。

□**2CHリニアPCM:** ２チャンネルリニアPCMで出力します。

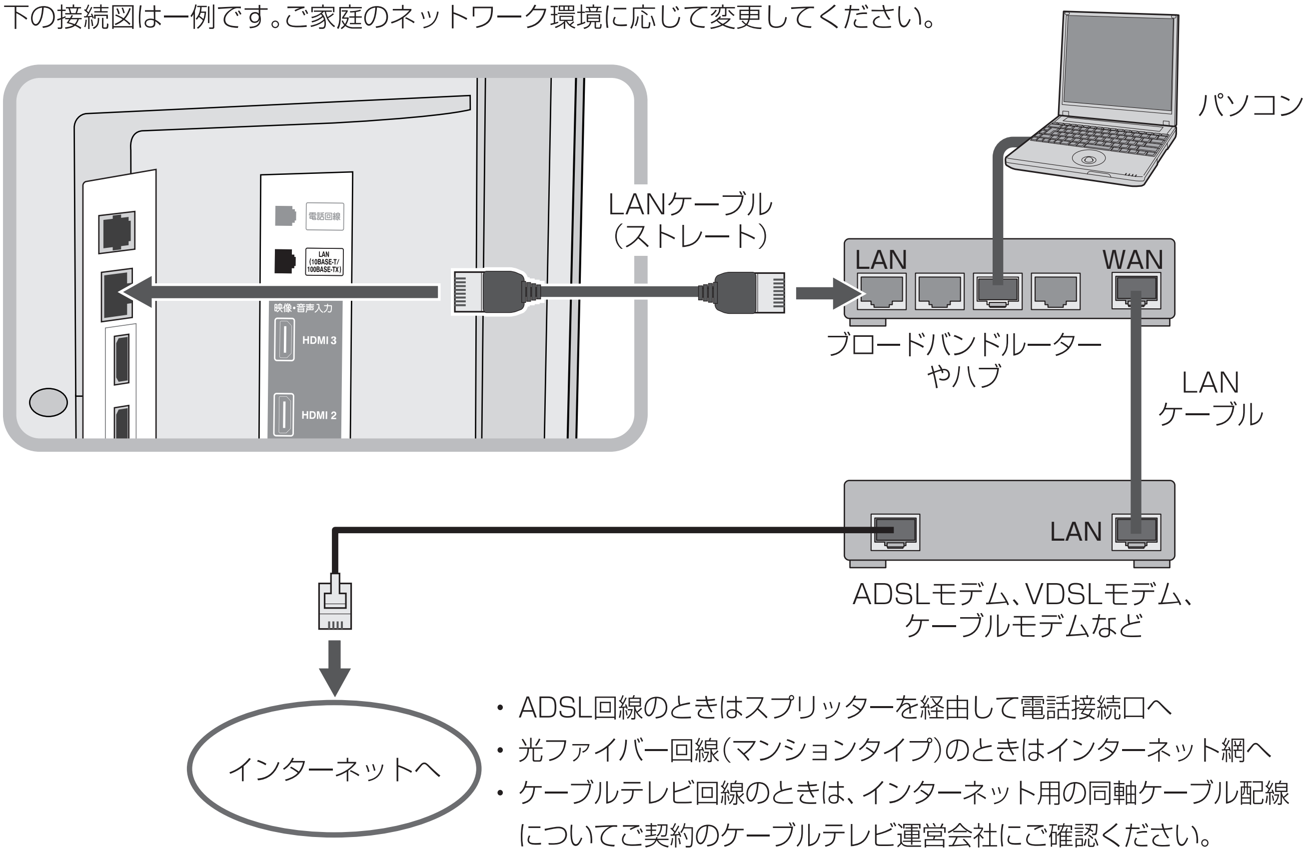
□**ストリーム:** ストリームとして出力します。

- 地上アナログ放送、ビデオ入力からの信号、音声入力（HDMI1接続用）端子からの信号は、設定にかかわらず、2チャンネルリニアPCMで出力されます。
- 「2CHリニアPCM」に設定しているときは、AAC信号はダウンミックスして2チャンネルPCMとして出力されます。AAC以外のストリームは出力されません。
- ３チャンネル以上のリニアPCM信号は出力されません。
- 88 kHz 以上のリニアPCM信号は出力されません。

インターネットの接続 263

本機をブロードバンドに接続すると、アクトビラを通じてテレビの画面でインターネットが楽しめます。
➔ 44ページ

下の接続図は一例です。ご家庭のネットワーク環境に応じて変更してください。



- ADSL回線のときはスプリッターを経由して電話接続口へ
- 光ファイバー回線（マンションタイプ）のときはインターネット網へ
- ケーブルテレビ回線のときは、インターネット用の同軸ケーブル配線についてご契約のケーブルテレビ運営会社にご確認ください。

インターネットに関する設定

・メニュー操作について➔ 46ページ

●ネット接続設定

設定メニュー ➔ 設置設定 ➔ ネットワーク設定 ➔ ネット接続設定 192

ネットワークへの接続に関する設定や、ネットワークの接続テストをします。

IPアドレスの自動取得	IPアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得する」を選んでください。
DNSアドレスの自動取得	DNSアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得する」を選んでください。
プロキシサーバーの設定	プロキシサーバーを使用するかどうか設定します。プロバイダーから指定があったときのみ、設定をしてください。

●文字入力方式の設定

設定メニュー ➔ 設置設定 ➔ ネットワーク設定 ➔ 文字入力方式の設定 201

アクトビラなどでの文字の入力方式を設定します。

□**キーボード方式:** 画面上にキーボードを表示させて入力します。

□**携帯電話方式:** リモコンの数字ボタンを使って入力します。

基本の操作

1 電源を入れる

電源/機能待機ランプが点灯します。

2 見たい放送に切り換える

・地上アナログ放送を見る　— 地上 — アナログ デジタル

・地上デジタル放送を見る　— 地上 — アナログ デジタル

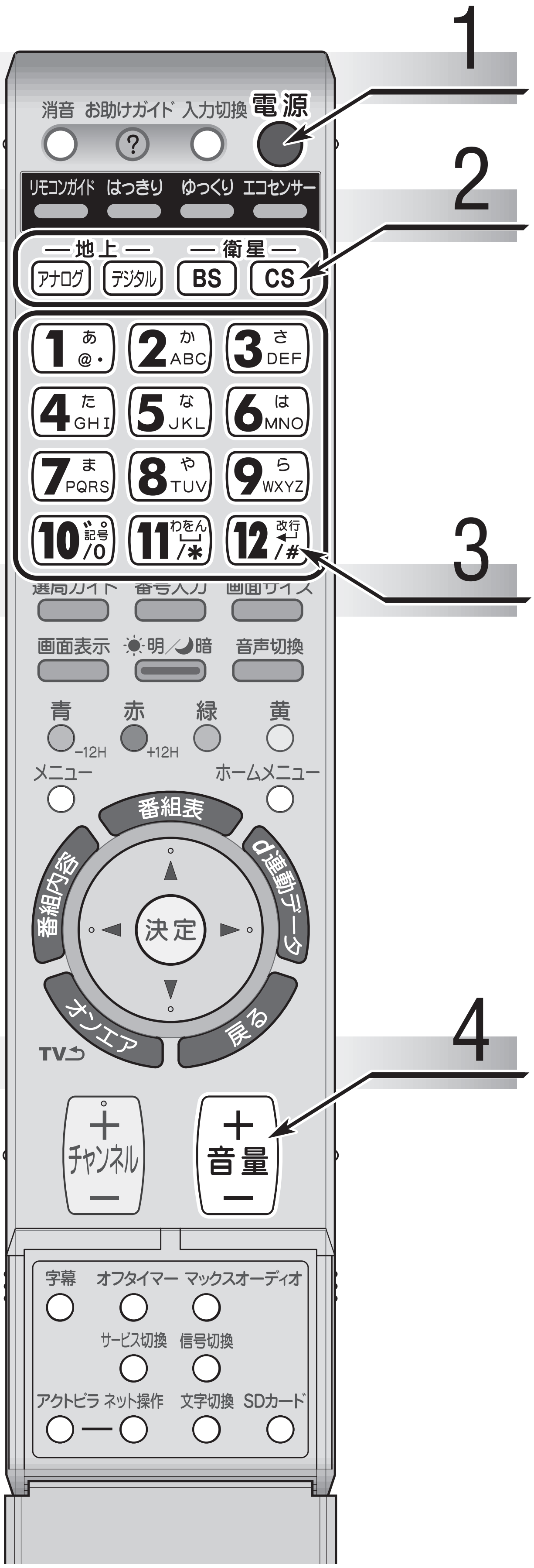
・衛星デジタル放送を見る　— 衛星 — BS CS

3 チャンネルを選ぶ

・＋ チャンネル － でもチャンネルを変えられます。

・このほかにもチャンネルの選びかたがあります。➔ 42ページ

番組表で見たい番組を選ぶ➔ 40ページ



4 音量を調整する

急いで音を消すには

消音 を押す

もう一度押すと元の音量に戻ります。

つないだ機器の映像・音声を楽しむ

165

外部機器の映像を見るときは、機器をつないだ外部入力に切り換えます。

入力切換
を押す

- ▲▼**ボタン**を押して入力を選んでください。
- **入力切換ボタン**を押したあとに**数字ボタン**を押すと対応する入力を直接選べます。

入力切換
1 BS 103
2 HDMI1
3 HDMI2
4 HDMI3
5 ビデオ1
6 ビデオ2
7 ビデオ3

- 本体の**入力切換ボタン**を押すと、次のように入力が切り換わります。

地上アナログ → 地上デジタル → BS → CS → HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → 地上アナログ

画面のサイズを変える

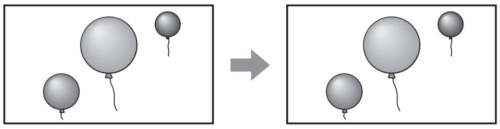
086

画面の端が切れたり、画面の周囲の黒い帯が気になるときは、表示される画面のサイズを変えます。

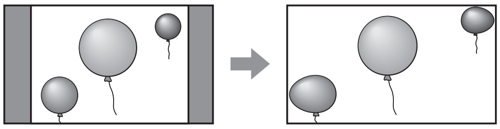
画面サイズ
を押す

デジタル放送(16:9)のとき

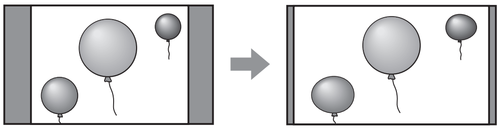
フル オリジナルサイズ(16:9)の映像を、画面いっぱいに見るとき



パノラマズーム1 自然に拡大して見るとき

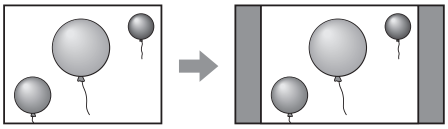


パノラマズーム2 自然に拡大して見るとき

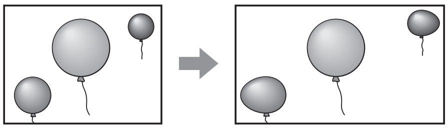


地上アナログ放送やビデオ、デジタル放送(4:3)のとき

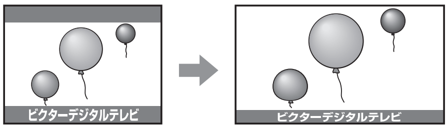
ノーマル オリジナルサイズ(4:3)で見るとき



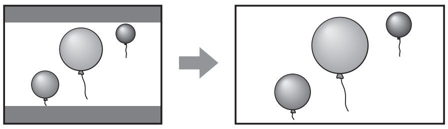
パノラマ 自然に拡大して見るとき



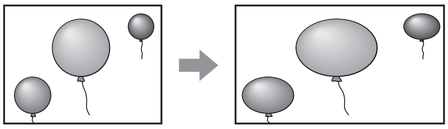
字幕パノラマ 字幕入りの映画番組を見るとき



シネマ 映画番組を見るとき



フル オリジナルサイズ(4:3)の映像を、画面いっぱいに拡大して見るとき



- 映像によっては黒い帯が残ったりすることがあります。

「お助けガイド」を使おう

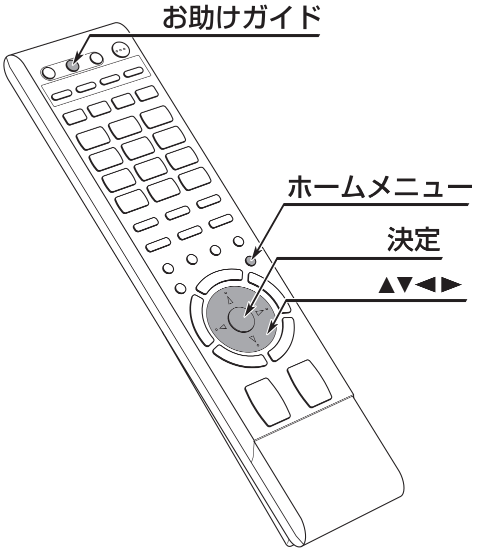
「お助けガイド」は、テレビの操作をお手伝いする機能です。

- 知りたい項目を探して解説を読むことができます。
- 解説ページから実際の操作画面へ移動することができます。
- 操作中にわからないことがあったら、ボタンひとつで解説ページを開くことができます。

知りたいことを探す

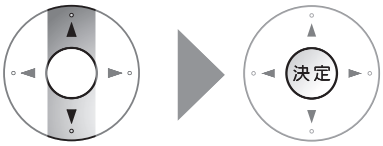
1 ホームメニュー を押す

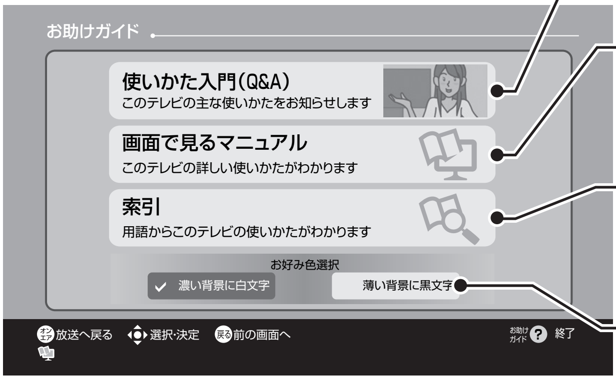
ホームメニューが開きます。



2 「お助けガイド」のトップページを開く

ホームメニューで「お助けガイド」を選んで**決定ボタン**を押します。





使いかた入門
このテレビの便利な機能を音声と画像でご紹介します。

画面で見るマニュアル
内容別の目次から、知りたい項目を選んで説明を読むことができます。

索引
あいうえお順の索引から、知りたい用語を選んで説明を読むことができます。

ページの色が選べます。

操作の途中で解説を読む

操作中、「この機能はどう使うんだろう？」と思ったら…

お助けガイド

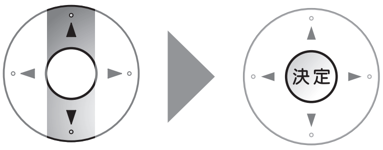
を押す

操作中の機能に対応した解説ページが開きます。

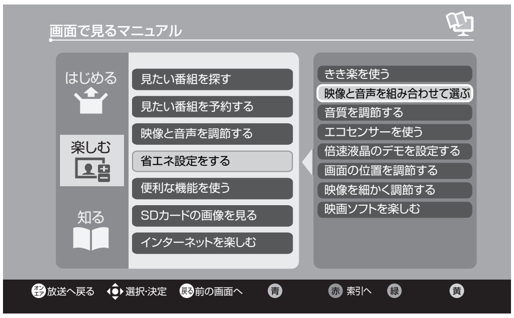
- テレビ放送や外部入力の映像を見ているときは、「お助けガイド」のトップページが開きます。

「使いかた入門」

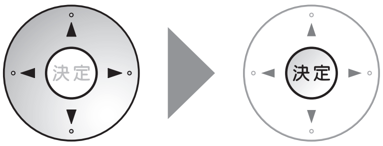
▲▼**ボタン**と**決定ボタン**で項目を選びます。
「詳しい説明を見る」という項目が出たら、画面の説明に従って**青ボタン**または**赤ボタン**を押します。



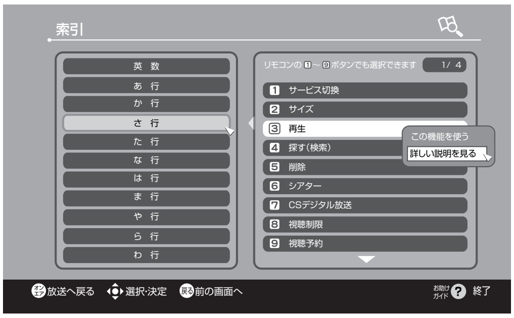
「画面で見るマニュアル」



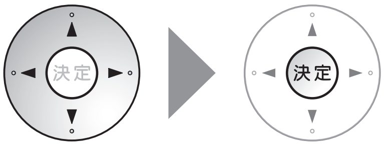
▲▼◀▶**ボタン**と**決定ボタン**で項目を選びます。
項目一覧➔ **36**ページ



「索引」

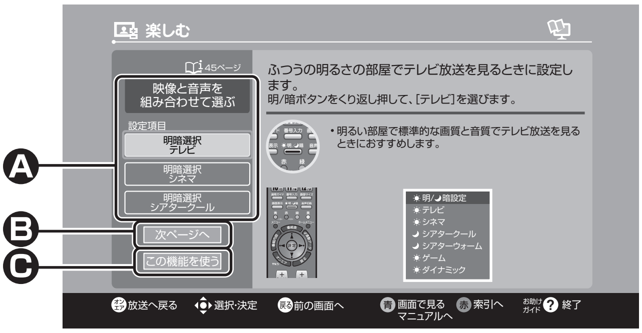


▲▼◀▶**ボタン**と**決定ボタン**で項目を選びます。
「詳しい説明を見る」を選んで**決定ボタン**を押します。



やりたいことを探して直接操作画面へ！
「この機能を使う」を選ぶと、実際の操作画面に移動することができます。

解説ページの見かた



Ⓐ上下ボタンで項目を選ぶと、右画面に対応する解説が表示されます。

Ⓑ複数のページにまたがる解説の場合は、「次ページへ」を選んで**決定ボタン**を押すと次のページへ移動します。

Ⓒ「この機能を使う」を選んで**決定ボタン**を押すと、実際の操作画面へ移動します。

リンクをたどる

青色の下線のついた項目を選んで**決定ボタン**を押す

用語の解説を見る

背景に色のついている用語を選んで**決定ボタン**を押す

・ 選んだ用語の解説が表示されます。

前のページに戻る

を押す

「画面で見るマニュアル」に戻る

青

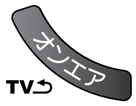
−12Hを押す

「索引」に戻る

赤

+12Hを押す

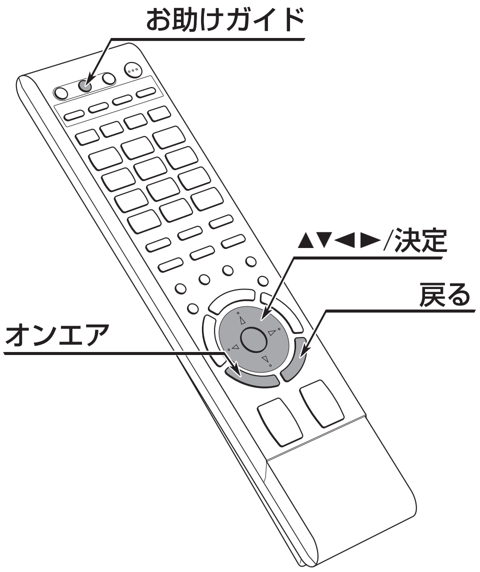
解説を閉じてテレビ放送に戻る



を押す

解説を閉じて接続した機器の映像に戻る

をくり返し押す

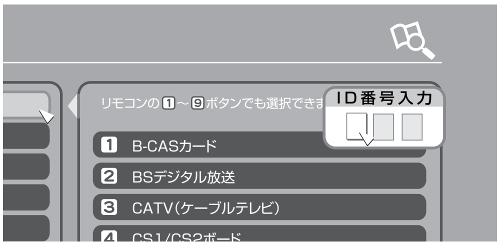


解説ページを直接開く

本文中のアイコン 000 は、お助けガイドの解説ページの番号を表しています。この番号を入力すると、知りたい項目の解説ページを直接開くことができます。

1 「索引」を開いて 番号入力 を押す

画面右上に番号入力欄が表示されます。



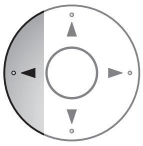
2 3ケタの番号を入力する

・「0」は10ボタンで入力します。

例

045 の解説ページを開くには

入力をまちがえたら



を押す

ひとつ前の位に戻ります。

お助けガイドの項目一覧

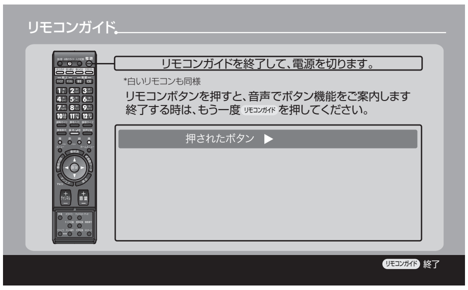
項目	番号
B-CASカードを入れる	001
BS/CSアンテナの設定をする	002
アナログ放送の選局方法を選択する	005
地上デジタルの受信レベルを確認する	006
映りが悪いチャンネルを微調整する	007
デジタル放送用に受信地域を設定する	008
地上デジタルのチャンネルボタン設定	009
地上アナログのチャンネルボタン設定	010
地上デジタルのチャンネルを自動設定	011
地上アナログのチャンネルを自動設定	012
チャンネルの切り換え時にスキップする	013
衛星情報の設定をする	014
ケーブルテレビのチャンネルを設定する	016
番組表に表示する放送局名を設定する	015
BSデジタル放送を見る	017
CSデジタル放送を見る	018
音を消す(ミュート)	019
音量を調節する	020
キーワードで番組を探す	021
視聴制限した番組を見る	022
電源オフタイマーを設定する	023
字幕を表示する	025
ジャンルで番組を探す	026
出演者名で番組を探す	027
選局ガイドの地デジチャンネルを変更	028
選局ガイドのBS/CSチャンネルを変更	029
地上アナログ放送を見る	030
チャンネル番号や番組名などを表示する	031
1～12ボタンでチャンネル切り換え	032
チャンネル番号でチャンネル切り換え	034
+/−ボタンでチャンネル切り換え	035
選局ガイドでチャンネル切り換え	036
枝番号の異なるチャンネルを選択する	037
番組の内容を確認する	038
番組表で番組を探す	039
有料番組を見る	041
ラジオ番組を視聴する	042
地上デジタル放送を見る	044
データ放送の画面操作	045
独立データ放送を見る	046
マルチビュー放送の映像を切り換える	047
番組に連動したデータ放送を見る	049
広告を見る	050
番組表を拡大/縮小する	051
番組表の受信地域を設定する	052
番組データを受信する時刻を確認する	053
番組表の見かた	054
見たい番組を予約する	062
予約した番組を確認する	067
予約を取り消す	068
映像を鮮やかにする	074
映画鑑賞に適した設定にする	076

番組に合った映像･音を
一括で選択する 082
黒帯の出ない画面サイズに
引き伸ばす 086
画面の位置を調整する 089
画面の明るさを変える 101
映像調節を標準に戻す 105
音質の調節を標準に戻す 108
音質を調節する 109
ざらつき感をなくす 111
多重音声やステレオ放送の
音声切り換え 112
はっきりステレオを使う 113
ゆっくりトークを使う 114
臨場感のある音声にする 115
SDカードの画像を見る 119
SDカードの画像を自動で
連続再生する 120
SDカードを入れる/抜く 122
SDカードの画像を回転する 123
SDカード画像一覧の
ページを切り換える 124
放送局から送信される
トピックスを見る 125
放送メールを読む 126
CS1･CS2ボードを読む 127
有料番組購入累計額をリセットする 128
有料番組の購入記録を確認する 129
B-CASカードの情報を表示する 130
暗証番号を登録する 131
暗証番号を変更する 132
暗証番号を忘れたときは 133
設定や履歴情報をすべて消去する 134
視聴制限を解除する 135
年齢による視聴制限を設定する 136
無操作時に自動的に電源を切る 138
放送終了後などに自動的に電源を切る 139
省エネ効果を確認する 140
設定項目をリセットする 141
エコセンサーで省エネ設定する 142
プログラムの更新を自動で行う 143
プログラムの更新を手動で行う 144
文字スーパーの設定をする 146
操作音の音量を調節する 147
お住まいの都道府県を設定する 148
郵便番号を設定する 149
電話の設定をする 151
電話回線をテストする 152
電話の外線設定をする 154
DVDプレーヤーをつなぐ 158
オーディオ機器をつなぐ 164
接続した機器の映像を見る 165
光デジタル音声信号を設定する 166
テレビゲーム機をつなぐ 167
入力切換の画面表示名を変える 168
外部入力を切り換える時に
スキップする 169
ビデオカメラをつなぐ 170
ビデオデッキをつなぐ 171
HDMI端子への音声入力を設定する 174
表示中の外部入力を画面に表示する 176
お好みページにホームページを登録 180
ブラウザを操作する 191
ネットワークを設定する 192
アクトビラを見る 195
お好みページを見る 197
リモコンボタンで文字を入力する 199
画面上のキーボードで文字を入力する 200
文字入力方式を設定する 201
110度CSデジタル放送について 205
B-CASカードについて 206
BSデジタル放送について 207
ケーブルテレビについて 208
オンエアボタンについて 210
SDカードについて 213
アクトビラについて 214
コピーガードについて 216
双方向番組について 217
地上アナログ放送について 218
地上デジタル放送について 219
データ放送について 220
ナチュラルシネマについて 222
番組表について 223
マルチビュー放送について 225
有料放送について 226
テレビの視聴距離について 228
HDMI接続について 229
リモコンガイドで
ボタン機能を確認する 230
操作方法や分からない言葉を調べる 232
リモコンガイドの音量を調節する 233
ブラウザで表示したデータを
保存する 236
複数の映像がある番組で
映像を選択する 241
複数の音声がある番組で
音声を選択する 242
DVDレコーダーをつなぐ 245
お助けガイドボタンについて 254
画面に表示する
チャンネル番号を変える 255
ブルーレイディスク
レコーダーをつなぐ 256
ネットワークの設定内容を確認する 257
本体ボタンやランプについて 258
リモコンについて 259
アンテナをつなぐ 260
電話線をつなぐ 261
LANをつなぐ 263
PCMについて 267
カラークリエーションについて 270
インテリジェントガンマについて 274
オートピクチャーについて 275
コンポーネント映像について 276
E.E.センサーで
画面の明るさを自動調節 278
倍速120コマのデモを実行する 279
正常に動作しない時にリセットする 284
ゲームに適した設定にする 285
設置設定をやり直す 288
ビデオ1入力の音声を
モニター出力する 289
外部に出力する映像の縦横比を設定する 290
画面サイズを変える(4:3の時) 292
画面サイズを変える(16:9の時) 293

「リモコンガイド」を使おう

リモコンボタンの操作・機能をテレビからの音声でご案内します。

1 リモコンガイド を押す



2 説明を聞きたいボタンを押す

押されたボタンの説明が画面に表示され、解説が音声で流れます。

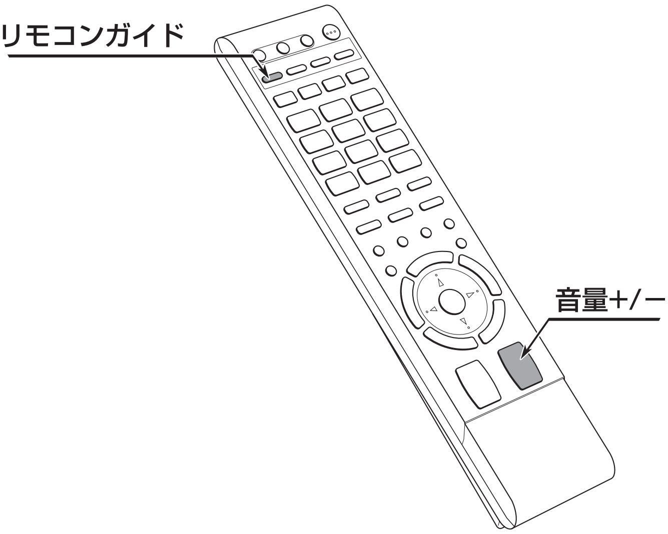
リモコンガイドの音量を調節するには

音量+/ーボタンを押します。(音量は表示されません。)

リモコンガイドを終了するには

リモコンガイドボタンをもう一度押します。

画面表示が消え、もとの音量に戻ります。



楽しむ

40　番組表で番組を探す
42　便利な機能
44　インターネットを楽しむ — アクトビラ
45　SDカードの画像を見る
46　メニュー操作

番組表で番組を探す

どのチャンネルでいつ、どんな番組をやっているのか、テレビ画面で調べることができます。

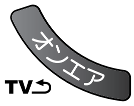
番組表を見る

039

を押す

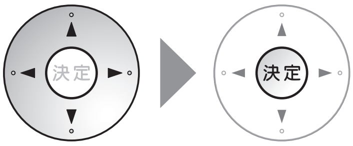
番組表が画面に表示されます。

テレビ放送画面に戻る



を押す

番組を選ぶ



番組を選んで**決定ボタン**を押すと、その番組を見るか、視聴予約することができます。 ➔ 右ページ

表示される時刻、日付を変える

青	赤
−12H	+12H
12時間前へ	12時間後へ

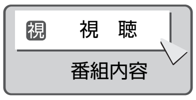
番組表を拡大、縮小する

緑	黄
拡大する	縮小する

番組表のデータ受信について

- 番組表は、BSデジタル放送のGガイドや、デジタル放送の電波で、1日数回配信されます。
  受信にはBS・110度CSデジタルアンテナ、地上デジタルアンテナの接続と設定が必要です。
- 地上アナログ放送の番組表は、BSデジタル放送のGガイドから配信されます。
  必ず、BS・110度CSデジタルアンテナの接続と設定が必要です。
  次回の配信時刻は、「Gガイド受信確認」(➔ 21ページ)をご覧ください。

現在放送中の番組を選んだとき



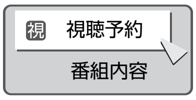
視聴

選んだ番組に切り換わります。

番組内容

選んだ番組の内容を確認できます。

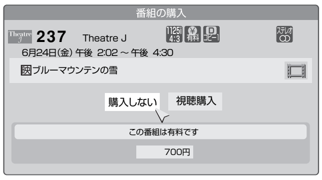
放送予定の番組を選んだとき



視聴予約

番組が始まる時刻にテレビの電源が入っていると、自動的にその番組に切り換わります。

・選んだ番組が有料（ペイ･パー･ビュー）だったときは、番組の購入画面が表示されます。



予約内容を確認する

「ホームメニュー」から「予約一覧」を選んでください。

ホームメニュー

番組を検索する

026　027　021

番組表情報をもとに、ジャンルや出演者の名前から番組を探すことができます。

1 ホームメニュー を押す

2 **条件を指定して、番組を検索します。**

見つかった番組は、番組表から選んだときと同様に、視聴または視聴予約ができます。

便利な機能

リモコンボタンでできる操作です。

テレビの使いかたを調べる 232

お助けガイド

わからない用語について調べたり、今使っている機能の解説ページを開いたりできます。➔ 36ページ

リモコンボタンの機能を知る 230

リモコンガイド

ボタンの機能をテレビがしゃべってお知らせします。➔ 38ページ

音声を聞きやすくする 113

はっきり

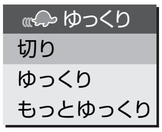
はっきり：アナウンサーの声やドラマの会話を聞こえやすい自然な音量にします。

ひっそり：音量を小さくしても人の声がはっきり聞こえます。

音声をゆっくりにする 114

ゆっくり

言葉と言葉の間を利用して速度を調節し、会話を自然で聞き取りやすくします。



音声を切り換える 112

音声切換

ステレオ/モノラル、主/副音声がある番組で音声を切り換えます。

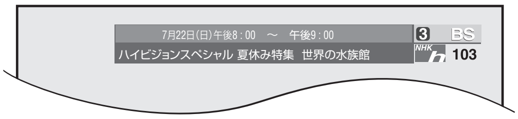
字幕を表示する 025

字幕

見ている番組・接続機器を確認する 031

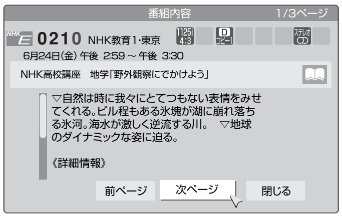
画面表示

番組の情報、または選んでいる接続機器の名前を画面の上部に表示します。



番組の内容を見る 038

番組内容

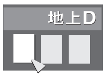


番組に連動したデータ放送を見る 049

d連動データ

3ケタの番号でチャンネルを選ぶ 034

番号入力



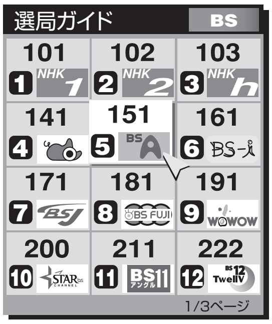
数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力してください。

- お住まいの地域によっては4ケタ目の枝番号を入力する必要があります。037

選局ガイドでチャンネルを選ぶ 036

選局ガイド

見たいチャンネルに対応する**数字ボタン**を押してください。



- **選局ガイドボタン**をくり返し押すと、ページが切り換わります。(全3ページ)
- **地上デジタル、BS、CSボタン**を押すと、対応する放送の選局ガイドが表示されます。

ホームメニューを開く

ホームメニュー 「ホームメニュー」からはいろいろな操作をすることができます。

トピックス

放送局から送られてくる情報トピックスを見ることができます。

メール

放送局から送られてくる情報や、本機の機能向上を行うダウンロード情報などを確認します。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。

情報➔ CS1ボード、CS2ボード

110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や、ご案内などを確認できます。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。

情報➔ 購入履歴

購入した有料番組の放送日や番組名、金額などの履歴を確認することができます。

- テレビの使いかたを調べる➔ 33ページ
- 番組を探す➔ 41ページ

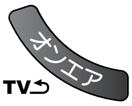
メニューを開く

メニュー

いろいろな設定をするためのメニューを開きます。

➔ 46ページ

放送画面に戻る



自動的に電源を切る 023

オフタイマー

オフタイマー
切り（解除）
30分
1時間
1時間30分
2時間

音質を調節する 109

マックスオーディオ マックスオーディオメニューを開いて音質を調節します。➔ 47ページ

映像と音声の組み合わせを選ぶ 082

明／暗 視聴環境に合わせて映像と音声の設定を選びます。➔ 47ページ

画面の明るさを自動的に調節する 142

エコセンサー 映像の明るさや部屋の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節します。

入り: オートピクチャーとE.E.センサーの両方がはたらきます。

ユーザー: オートピクチャーとE.E.センサーの現在の設定を適用します。（➔ 47、48ページ）

信号を切り換える 241

信号切換 デジタル放送には、マルチビューなど複数の映像を放送している番組や、複数の音声信号を放送している番組があります。このような番組で、映像と音声を切り換えます。

独立データ放送、ラジオ放送を楽しむ 042 046

サービス切換

テレビ放送 → ラジオ放送 → データ放送 → （テレビ放送に戻る）

SDカードの画像を見る 119

SDカード SDカードの画像一覧画面を開きます。➔ 45ページ

はじめる　楽しむ　知る

便利な機能

インターネットを楽しむ ― アクトビラ

アクトビラとは

本機をブロードバンドに接続すれば、テレビをもっと楽しむための情報や、TVをもっと使いたくなるサービスが無料でお使いいただけます。
リモコンだけの簡単な操作で、安心安全なサービスを手軽にお楽しみいただけます。
事前にブロードバンドへの接続と設定が必要です。➔ 30ページ

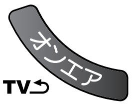
アクトビラを始める 195

1 アクトビラ を押す

アクトビラのポータルサイトが表示されます。

2 ▲▼◀▶ボタンと決定ボタンで見たい項目を選ぶ

アクトビラを終了する



を押す

インターネットの操作 191

ネット操作 を押す

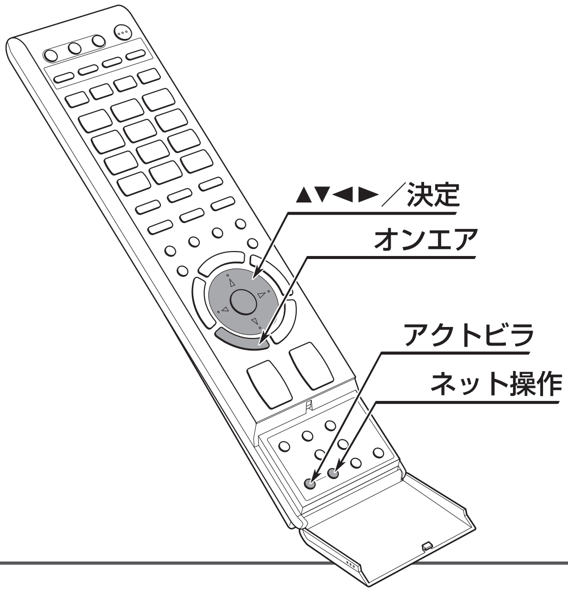
画面の下部に操作パネルが表示されます。

戻る	1つ前のページに戻ります。
進む	1つ先のページに進みます。
中止	読み込みを中止します。
更新	表示中のページを再読み込みします。
ホーム	ポータルサイトへ戻ります。
お好み	お好みに登録したページを表示します。お好きなホームページを登録して、簡単に呼び出せます。
ツール	アドレス入力、データの保存･再生、画面メモの機能を使います。
ヘルプ	ネット操作のヘルプを表示します。

・文字の入力方法は「キーボード方式」と「携帯電話方式」から選択できます。➔ 30ページ

操作パネルを閉じる

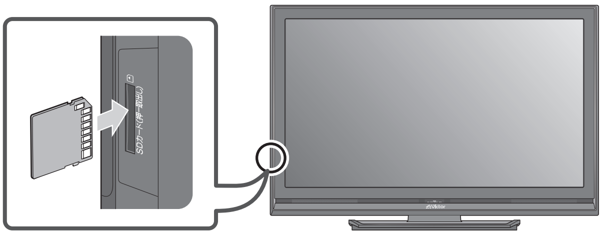
もう一度 ネット操作 を押す



SDカードの画像を見る

SDカードに記録したデジタルカメラの静止画像を再生できます。

SDカードを入れる 122

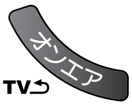


画像の一覧が表示されます。

一覧の次のページ／前のページを見るには

赤 +12Hを押す／ 青 −12Hを押す

テレビ画面に戻るには



を押す

再び画像一覧を見るには

SDカード を押す

SDカードを抜くには

SDカードを指で押し込む

一枚ずつ見る 119

画像一覧画面で見たい画像を選び、決定を押す

選んだ画像が大きく表示されます。

◄►ボタンで前後の画像を見ることができます。

一覧表示に戻るには

を押す

連続して見る 120

1 画像一覧画面で 黄 を押す

再生間隔の設定画面が開きます。

2 再生時間を選ぶ

3 画像を選んで 決定 を押す

その画像から順に連続して画像が表示されます。

再生を一時停止するには

決定 を押す

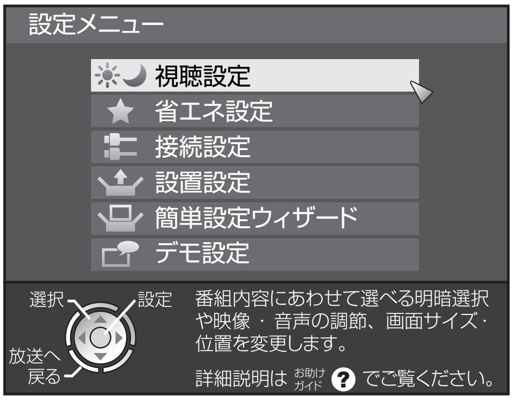
もう一度押すと再生が再開されます。

- SDカード、SDHCカードは、松下製、東芝製および当社製のものを推奨します。
- 本機では、2GBまでのSDカードおよび4GBまでのSDHCカードを動作確認しています。
- miniSDカードやmicroSDカードを再生するときは、専用のアダプタを装着して、本機に入れてください。
- SDカードのフォーマットはデジタルカメラなどの撮影機器で行なってください。
- 本機では以下の画像データが再生できます。
  - DCF規格の画像データ
  - JPEG形式の画像データ（拡張子は「.JPG」にしてください。また長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます）
- パソコンで画像の加工や別名保存をすると、サムネール画像が消失しますので、ご注意ください。
- 画像の縦横の比率は変えずに表示します。
- 回転表示させた状態は保存されません。

メニュー操作

メニュー
を押す

設定メニューが開きます。

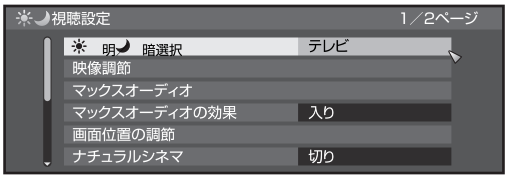


各メニュー画面内では、▲▼◀▶ボタンで項目を選択し、**決定ボタン**で設定を選んでください。

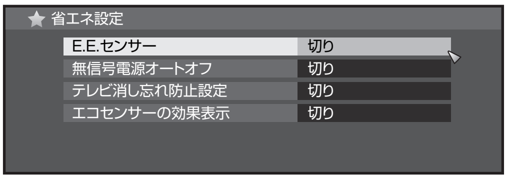
メニューを消すには

メニュー
を押す

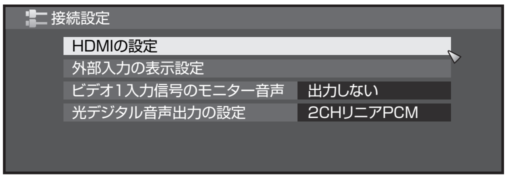
視聴設定 ➔ 47ページ



省エネ設定 ➔ 48ページ



接続設定 ➔ 25, 26, 28, 29ページ



設置設定

地上デジタル設定 ➔ 21ページ	地上デジタル放送の設定をします。
BS/CSデジタル設定 ➔ 21ページ	BS/CSデジタル放送の設定をします。
デジタル放送共通設定 ➔ 49ページ	本機に接続した機器に関する設定や安心してご使用いただくための設定をします。
地上アナログ設定 ➔ 22ページ	地上アナログ放送の設定をします。
ネットワーク設定 ➔ 30ページ	アクトビラやデータ放送を使うための設定をします。

簡単設定ウィザード ➔ 19ページ 288

受信に必要な設定を自動で行います。

デモ設定 ➔ 50ページ

視聴設定 ☀🌙

☀明／🌙暗選択	視聴環境にあった映像と音声の組み合わせを選ぶことができます。	☀テレビ、☀シネマ、🌙シアタークール、🌙シアターウォーム、☀ゲーム、☀ダイナミック

映像調節	「☀明／🌙暗選択」の現在の設定について以下のような映像の調節ができます。	
ピクチャー	明るさ、色の濃さを決めます。	薄く ↔ 濃く
黒レベル	見やすい明るさにします。	暗く ↔ 明るく
色あい	お好みの肌色に調節します。	赤っぽく ↔ 緑っぽく
色の濃さ	発色を調節します。	薄く ↔ 濃く
シャープネス	好みの輪郭にします。	やわらか ↔ くっきり
バックライト	画面の明るさを調節します。	暗く ↔ 明るく
オートピクチャー	画面全体の明るさが、映像にあわせて目にやさしい明るさに自動的に調節されます。「☀明／🌙暗選択」が「☀ダイナミック」のときは働きません。	切り、入り
インテリジェントガンマ	明るい映像も暗い映像も、質感を保ちながら鮮やかに再現します。	切り、入り
ノイズクリア	画面のざらつきが少なくなるように調節します。	切り、弱い、強い
DCC(DETカラークリエーション)	くすんだ色を自然な色調に補正します。	標準、弱い
色温度	画面の色調を選びます。	高い色温度(青が強い)、低い色温度(赤が強い)
標準に戻す	「☀明／🌙暗選択」で選んでいる画質を、お買い上げ時の設定に戻します。	

マックスオーディオ	「☀明／🌙暗選択」の現在の設定について以下のような音質の調節ができます。	
マックスベース	低音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
マックストレブル	高音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
マックスステレオ	臨場感を調節します。	音場を弱める ↔ 音場を強める
マックスボリューム	音量のばらつきを低減します。	切り、入り
バランス	左右の音量を調節します。	左側が大きく ↔ 右側が大きく
標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。	

マックスオーディオの効果	マックスオーディオの機能を使うかどうかを設定します。	切り、入り
画面位置の調節	画面の上下左右の位置を調節します。	▲▼◀▶ボタンで調節する
ナチュラルシネマ	フィルム撮影された映画などを、動きの速いところもぼんやり感のない映像で表示します。	切り、自動
画面サイズ	映像を表示する画面サイズを選びます。(➔ 32ページ)	フル、パノラマズーム１、パノラマズーム２、ノーマル、パノラマ、字幕パノラマ、シネマ

はじめる
楽しむ
知る
メニュー操作

省エネ設定

E.E.センサー	部屋の明るさに合わせて、画面の明るさが自動的に調節されます。	切り、入り
無信号電源オートオフ	放送終了後やビデオの再生終了後、約4分経過すると自動的に電源が切れるように設定します。デジタル放送をご覧のときは働きません。	切り、入り
テレビ消し忘れ防止設定	何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定します。	切り、入り
エコセンサーの効果表示	オートピクチャー（➔ 47ページ）とE.E.センサーの効果のレベルを星マークでテレビ画面に表示します。（➔ 43ページ）	切り、入り

接続設定

HDMIの設定		HDMI接続に関する設定をします。	
	HDMI1の音声入力端子	HDMI1端子に接続した機器の音声信号の種類を選びます。➔ 26ページ	自動、HDMI端子、アナログ端子
外部入力の表示設定		外部入力端子につないだ機器の入力表示を設定します。➔ 28ページ	
ビデオ１入力信号のモニター音声		ビデオ1の音声にノイズが入るときに、ビデオ1端子からの音声をモニター出力しないように設定します。➔ 25ページ	出力する、出力しない
光デジタル音声出力の設定		接続している機器に合わせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。➔ 29ページ	2CHリニアPCM、ストリーム

設置設定

■ 地上デジタル設定　➔ 21ページ

地域設定	お住まいの地域の情報を受信するための設定をします。
チャンネルスキャン	お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して設定します。引っ越したとき、新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変わったときに行ないます。
チャンネルの設定	**数字ボタン**で選べる受信チャンネルを変更したり、空きチャンネルに受信できるチャンネルを割り当てたりすることができます。
アンテナの設定	地上デジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。

■ BS/CSデジタル設定 ➔ 21ページ

アンテナの設定	衛星アンテナへの電源供給をするかしないかを設定します。BS/CSデジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。	する(個別)、しない(共聴)
番組表の設定	番組表を受信するための放送局を設定します。	
受信チャンネル	番組表を受信する放送局が表示されます。	
Gガイド受信地域の設定	お住まいの地域に合わせて、番組表に表示する放送局を設定します。	
Gガイド受信確認	番組データを受信する時刻を確認できます。	
BS選局ガイドチャンネルの設定 CS選局ガイドチャンネルの設定	リモコンの**数字ボタン**で選局できる衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。	
衛星情報の設定	デジタル放送局から電波を受信するための設定をします。	

■ デジタル放送共通設定

年齢による視聴制限の設定	年齢による視聴制限を設定します。 視聴年齢を設定すると、制限の対象になる番組は、暗証番号を入力しない限り視聴することはできません。	1歳 ～19歳、制限なし
お知らせ音の設定	お知らせ音の音量を設定します。	なし、あり:音量小、あり:音量大
暗証番号の設定	視聴制限を設定･解除するための暗証番号を登録･変更します。	4ケタの暗証番号を入力する
B-CASカード番号の表示	カスタマーセンターへ問い合わせる際など、B-CASカードの番号などを調べる必要があるときに、B-CASカードの情報を確認できます。	
自動ダウンロードの設定	機能の追加やサービスへの対応のためのプログラムのダウンロードを自動で行うかどうかを設定します。	する、しない
映像出力画面の縦横比の設定	本機の映像出力端子から出力される映像信号のサイズを設定します。(➔ 25ページ)	テレビ用、ワイドテレビ用
文字スーパーの設定	速報ニュースなどを表示するための文字スーパー表示の有無や、表示言語を選びます。	日本語で表示、英語で表示、表示しない
県域の設定	お住まいの都道府県を設定します。	表示される都道府県名から選ぶ
郵便番号の設定	郵便番号を設定します。	**数字ボタン**で郵便番号を入力する
電話の設定	電話回線の接続に関する設定をします。(➔ 17ページ)	
電話回線の種類	電話回線の種類を設定します。	自動、ダイヤル回線(10PPS)、ダイヤル回線(20PPS)、プッシュ回線
外線発信番号の設定	外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときに設定します。	
ダイヤルポーズの設定	外線発信番号を出力後の、休止時間挿入を設定します。	する、しない
ダイヤルトーン検出の設定	電話の発信時の、ダイヤルトーン検出を設定します。	する、しない

	B-CASセンター接続の設定	B-CASカード情報や有料番組購入情報などの、センターへの自動送信を設定します。	自動、切り
	番号通知の設定	電話番号の通知を設定します。	なし、通知する、通知しない
	電話会社の設定	接続する電話会社を設定します。	マイラインプラスの加入、電話会社の番号を設定する
	電話のテスト	電話回線が正しく設定されているかテストします。	
	終了	電話の設定を終了します。	
設定のリセット		各種調整･設定値を工場出荷時の設定に戻します。また、個人情報を消去します。	
	設定項目リセット	各種調整･設定値を工場出荷状態に戻します。	
	個人情報消去	本機を初期化して、本機に記録されている視聴履歴などの個人情報をすべて消します。	

■ 地上アナログ設定 ➔ 22ページ

地域チャンネル合わせ		お住まいの地域で受信できるチャンネルを自動的に探して設定します。	
チャンネルの設定		1～12の**数字ボタン**ごとに、見るチャンネルを設定します。	
	見るチャンネル	**数字ボタン**を押したときに受信するチャンネルを設定します。	1～62、C13～C38
	画面の表示	選局時の画面表示の設定をします。	1～62、C13～C38
	+－ボタン選局	空きチャンネルを**チャンネル+/－ボタン**で選べないようにする設定（チャンネルスキップ）をします。	見る、スキップ
	受像微調節画面	映像がもっともきれいになるように調整します。	
CATV選局方式の設定		CATVをご覧になるときに設定します。チャンネル番号を直接入力して選局できます。	12ボタン方式、数字入力方式
CATVチャンネルの設定変更		CATVのチャンネル設定を変更します。選局方式で、「数字入力方式」を選んでいるときに設定します。	「設定するチャンネル」、「+－ボタン選局」、「受像微調節画面」
放送局名設定		番組表を表示するために、放送局名を設定します。	

■ ネットワーク設定 ➔ 30ページ

ネット接続設定		ネットワークへの接続に関する設定や、ネットワークの接続テストをします。	
	IPアドレスの自動取得	IPアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得する」を選んでください。	
	DNSアドレスの自動取得	DNSアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得する」を選んでください。	
	プロキシサーバーの設定	プロキシサーバーを使用するかどうか設定します。プロバイダーから指定があったときのみ、設定をしてください。	
文字入力方式の設定		アクトビラでの文字の入力方式を設定します。	キーボード方式、携帯電話方式

デモ設定

279

倍速120コマ	倍速120コマ（残像を低減して画像をくっきりさせます）の自動デモを設定します。	デモ解除、デモ設定

知る

52 故障かな？と思ったら

56 こんなメッセージが出たら

58 主な仕様

60 保証とアフターサービス

63 索引

故障かな？と思ったら

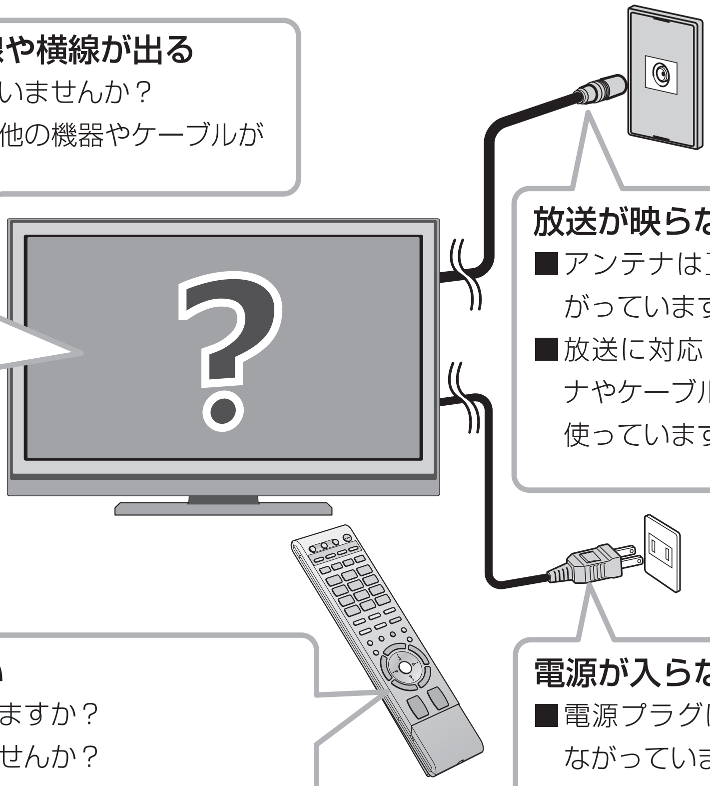
修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

画面が乱れる／映像に縦線や横線が出る

■他の機器からノイズが入っていませんか？
■アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか?

映像や音声が出なくなったり、映像にモザイク状の四角いマスが出るようになった

■アンテナの向きが風や振動で変わってしまっていませんか？
■アンテナケーブルが劣化していませんか？



放送が映らない

■アンテナは正しくつながっていますか？
■放送に対応したアンテナやケーブル、分配器を使っていますか？

リモコンで操作ができない

■電池は正しい向きで入っていますか？
■電池が消耗してしまっていませんか？
■リモコンを本体に向けずに操作していませんか？
■リモコンと本体の間が障害物にさえぎられていませんか？

電源が入らない

■電源プラグは正しくつながっていますか？
■**電源ボタン**をくり返し押していませんか？

こんなときは故障ではありません

■**画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。**
■静止画を表示し続けたときに、画面に残像が生じることがあります。残像はしばらくすると消えます。
■下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ心配ありません。
・ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
・本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
・本機から「ミシッ」という音がする場合。
・本体の内部から動作音が聞こえる場合。
■本機が正常に操作できなくなった場合は、次の操作を行なってください。
1 本体の**チャンネル－(マイナス)ボタン**と**入力切換ボタン**を同時に5秒以上押し続ける。
電源が切れ、電源/機能待機ランプが消えます。
2 本体の**電源ボタン**を押して電源を入れ直す。
※電源/機能待機ランプが赤く点灯しているときは、この操作はできません。

放送の受信

地上アナログ放送が映らない	取扱説明書	お助けガイド
アンテナを地上デジタル/アナログアンテナ入力端子に正しく接続する。	15	260
チャンネル設定を正しく設定する。	22	010
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	22	013

地上アナログ放送のチャンネルが番組表に表示されない	取扱説明書	お助けガイド
「地上アナログ設定」で「放送局名設定」を正しく設定する。 ・番組表には「地域設定」で選んでいる地域の地上アナログチャンネルが表示されます。地域の境界では番組表には表示されないチャンネルがある場合があります。	22	015

CATVが映らない	取扱説明書	お助けガイド
受信契約をする。	–	–
ケーブルを正しく接続する。	–	–
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	22	016
「CATV選局方式の設定」を「数字入力方式」にする。 ・「CATV選局方式の設定」が「12ボタン方式」の場合、CATVのチャンネル(C13～C38)は**チャンネル+/－ボタン**では選べません。	22	005

地上デジタル放送が映らない	取扱説明書	お助けガイド
アンテナをBS･110度CSアンテナ入力端子に正しく接続する。	15	260
正しい向きでB-CASカードを入れる。	18	001
簡単設定ウィザードを実行する。	19	288
受信レベルを確認する。	21	006
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	–	–

衛星デジタル放送が映らない	取扱説明書	お助けガイド
受信契約をする。	–	–
アンテナをBS･110度CSアンテナ入力端子に正しく接続する。	15	260
正しい向きでB-CASカードを入れる。	18	001
簡単設定ウィザードを実行する。	19	288
衛星アンテナへの電源供給を正しく設定する。	21	002
アンテナの前方にある障害物を取り除く。 ・大雨や雪が降っている場合でも、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。	–	–
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	–	–

データ放送の一部を見ることができない	取扱説明書	お助けガイド
「ネット接続設定」の項目を確認してください。	30	192

取扱説明書	この取扱説明書のページ番号
お助けガイド	お助けガイドのページ番号

画面表示/映像

画面が乱れる／映像に縦線や横線が出る	📖	🖥
アンテナケーブルを他の機器やケーブルから離してください。	–	–
画面表示が消えない		
受信できるチャンネルを選ぶ。	31	032
外部機器の映像を再生する。 ・入力信号がないときに画面表示を消すことはできません。	32	165
メニュー操作時などにオンエアボタンを押すと、外部入力の映像ではなく、テレビ放送に切り換わる		
メニュー画面や設定画面が消えるまで、**戻るボタン**をくり返し押す。 ・**オンエアボタン**を押した場合は、**入力切換ボタン**を押して見たい外部入力を選んでください。	32	–
「高速液晶」のデモが自動的にはじまる		
「倍速120コマ」の設定を「デモ解除」にする。	50	279
色が出ない、おかしい		
地上アナログ放送の場合は、「チャンネルの設定」で受信周波数を微調整する。	22	007
映像調節メニューで「色あい」や「色の濃さ」を調節する。	47	074

接続したAV機器からの映像が出ない	📖	🖥
正しい外部入力を選ぶ。	32	165
AV機器を正しく接続する。	25–30	158 167 245 256
AV機器の電源を入れ、映像を再生する。	–	–
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	–	–
雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)		
屋外のアンテナ線をつなぎ直す。	15	260
アンテナの向きを直す。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–
画面にはん点が出る(妨害)		
ドライヤー·自動車·オートバイ·蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–
画面にしま模様が出る(混信)		
無線局やパソコン·AV機器·電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–

📖	この取扱説明書のページ番号
🖥	お助けガイドのページ番号

音声

音が出ない		
ヘッドホン端子からヘッドホンを抜く。	13	–
消音ボタンを押す。	31	019

音声が重なって聞こえる		
二重音声放送の音声を「主音声」または、「副音声」に切り換える。	42	112

映像の動きと音声が合わない		
「ゆっくりトーク」を「切り」に設定する。	42	114

音声が切り換えられない		
下記の場合は音声を切り換えられません。 ・地上アナログ放送で、モノラル放送やステレオ放送の場合。 ・デジタル放送で、音声多重や複数の音声信号がない番組の場合。 ・外部入力の映像の場合。 ・「ゆっくりトーク」を「ゆっくり」または「もっとゆっくり」に設定している場合。	–	–

接続したAV機器からの音声が出ない		
正しい外部入力を選ぶ。	32	165
AV機器を正しく接続する。	25–30	158 167 245 256
AV機器の電源を入れる。	–	–
アンプの音量を0以外または消音以外にする。	–	–
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	–	–
HDMI接続の場合、「HDMI1の音声入力端子」を正しく設定する。	26	174

音声が、接続していないスピーカーから聞こえる		
ビデオ入力の音声コードを正しく接続してください。	28	158 167 245 256

HDMI接続した機器で操作をすると、テレビから「プチッ」などと音がする		
接続したHDMI機器の音声出力設定を「2CH PCM」にしてください。	–	–

📖i	この取扱説明書のページ番号
🖥	お助けガイドのページ番号

ネットワーク

インターネットに接続できない		
ネットワーク(LANの設定、ブラウザの設定)を正しく設定する。	30	192
ブロードバンド環境でインターネットに接続する。	–	–
ブロードバンドルーターやハブ、ADSLモデムなどの設定を確認する。	–	–
・当社のアクトビラサポートホームページでも情報を提示しております。http://www.jvc-victor.co.jp/support/tv/tnavi/index.html	–	–

その他

チャンネルを選ぶときの動作がおかしい		
CATVをご覧にならないときは「CATV選局方式の設定」を「12ボタン方式」にする。 ・「数字入力方式」に設定されている場合、**数字ボタン**で直接選局することはできません。	22	005

衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった		
電話回線の接続や設定を確認する。	17 49	261 151

電源を「切」にしたのに電源/機能待機ランプが赤く点灯している		
下記の場合は電源/機能待機ランプが赤く点灯します。 ・番組表のデータを取得している場合。	13	258

SDカードの画像が再生できない		
本機で再生できる画像データを記録する。	–	119

外部入力が選べない		
「外部映像の表示設定」の「スキップ」を「見る」に設定する。	28	169

突然電源が切れた		
オフタイマーか「テレビ消し忘れ防止設定」を設定していた場合、自動的に電源が切れます。	43 48	023 138
放送終了後に電源が切れたときは、「無信号電源オートオフ」機能が働いたためです。	48	139

テレビの中から「カチッ」と音がする		
番組表などの情報を取得するために内部の回路が自動的に動作する音です。	–	–

こんなメッセージが出たら

本機は、お使いの状況に合わせてメッセージを表示します。以下は主なメッセージとその対処方法です。表示されたときは、「こうしてください」欄をご確認いただき、正しくお使いください。
メッセージ番号は、エラーの内容に応じて表示されます。

画面メッセージ	こうしてください	📖i	🖥
BS/CSアンテナとの接続に不具合があります。 アンテナの設定で電源供給方法やケーブルとアンテナに異常がないか確認してください。	アンテナを正しく接続･設定する。	15	260
放送チャンネルではないため、視聴できません。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・放送されていないチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	21 22	032
現在放送されていません。別のチャンネルを選んでください。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・放送休止中のチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	21 22	032
信号が受信できません。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	21 22	032 034 035 036
	アンテナケーブルやコネクターを点検する。 ・アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	15	260
降雨などによる電波障害のため、自動的に降雨対応画面に切り換えています。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	21 22	032
	アンテナケーブルやコネクターを点検する。 ・アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	15	260
SDカードが挿入されていません。	SDメモリーカードを挿入してから、**SDカードボタン**を押す。	45	119
時刻情報が取得できていないため、この機能は利用できません。 時刻情報はデジタル放送を選局すると取得できます。	デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	15 48	260
必要な情報が取得できませんでした。	デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	15 48	260

📖i	この取扱説明書のページ番号
🖥	お助けガイドのページ番号

はじめる
楽しむ
知る

ダウンロードについて

143 144

本機には、受信用の内部ソフトウェアを自動的に更新する機能があります。新しい放送局が開設されたときなどに、ソフトウェアを更新することで、デジタル放送を正しく受信することができます。

- お買い上げ時は、テレビが必要な情報を自動的にダウンロードして更新する設定になっていますので、操作や設定をしなくても常に最新のソフトウェアをお使いいただけます。
- ソフトウェアの更新に必要な情報は、デジタル放送の電波を利用してお客さまのテレビに送信されます。更新が行われるためには、衛星デジタル放送または地上デジタル放送が安定して受信できることが必要です。

更新のために必要な操作

■「自動ダウンロードの設定」(➔ 49ページ) が「する」になっているとき(お買い上げ時の設定):
お客さまの操作は必要ありません。メールで更新予定のお知らせが届きますので、内容を確認してください。

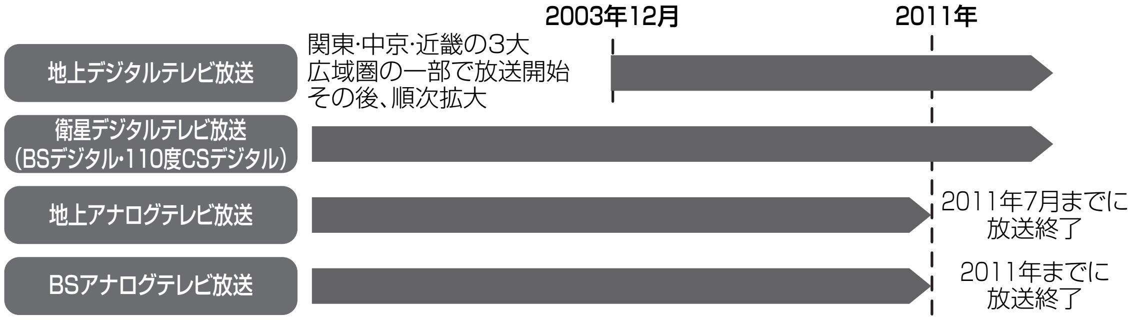
■「自動ダウンロードの設定」が「しない」になっているとき:
ソフトウェア更新予定のお知らせがメールで届きますので、内容をお読みのうえ、決定ボタンを押して更新を行ってください。

ソフトウェアの更新は、テレビの電源が切り(待機中)のときに行われます。電源コードはさしたままにしておいてください。

- 更新中は本体前面の通信中ランプが緑色に点灯します。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。



主な仕様

システム

- ●受信方式　NTSC(VHF/UHF/CATV)
- ●受信チャンネル
  VHF 1〜12、UHF 13〜62、CATV C13〜C38
  地上デジタル放送のチャンネルに対応 000〜999
  BSデジタル放送のチャンネルに対応　000〜999
  110度CSデジタル放送のチャンネルに対応000〜999
  ・CATVパススルー(全帯域)に対応
- ●画面寸法(幅×高さ／対角)
  69.8 cm × 39.3 cm ／ 80.1 cm
- ●表示画素数　水平:1366 垂直:768
- ●スピーカー　5 cm×12 cm、2個
- ●音声出力　10 W + 10 W

電源部

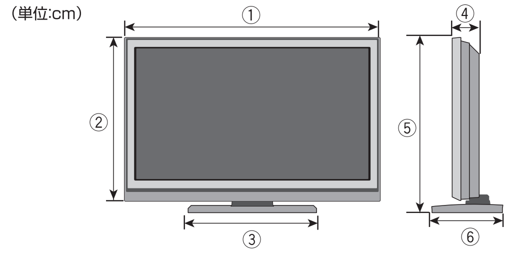
- ●使用電源　AC 100 V、50/60 Hz
- ●消費電力
  ① 149 W　② 0.2 W　③ 22 W　④ 128 kWh/年
  ① 消費電力
  ② 待機時消費電力
  ③ BS・110度CSデジタルチューナー部動作時（機能待機時）（BS・110度CSコンバーター最大4Wを除く）
  ④ 年間消費電力量[テレビ時]
- ●区分名　BEE

入出力端子

- ●アンテナ端子
  地上デジタル/アナログ: 75 Ω、F型
  (CATV(VHF)も対応)
  BS･110度CS: 75Ω、F型
  (BS・110度CSコンバーター用電源DC15V 4W 重畳)
- ●ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3入力端子
  S1映像(S映像)(ビデオ3を除く):
  Y: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  C: 0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
  映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス
- ●ビデオ3コンポーネント映像入力端子
  (1080i)
  Y : 1 V(p-p)、75 Ω±20%
  同期信号分±0.30 V(p-p)、3値同期
  Pb 、Pr: ±0.35 V(p-p)、75 Ω±20%
  (720p/480p/480i)
  Y : 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  Cb 、Cr: 0.7 V(p-p)、75 Ω±20%
- ●D4映像入力(ビデオ1)端子映像: D端子(D4)
- ●HDMI1、HDMI2、HDMI3入力端子
  HDCP対応映像:1080p (60, 24, 30)/1080i/720p/480p/480i
  音声: 2CH PCM、AAC
- ●HDMI 接続用 アナログ音声入力端子
  音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス
- ●モニター出力端子
  映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
  音声: 0.5 V(rms)、ローインピーダンス
- ●光デジタル音声出力端子−18 dBm、660 nm
  メニュー設定によりストリームと2CHリニアPCMを切り換えて出力
- ●電話回線端子2Pモジュラージャック、
  モデム伝送レート 2400 bps
- ●ヘッドホン端子
  直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
- ●LAN端子(10BASE-T / 100BASE-TX端子)

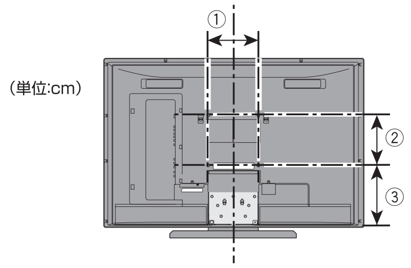
外形寸法・その他

① 80.0　② 54.5　③ 41.0
④ 10.7　⑤ 59.9　⑥ 24.5



● 壁掛け金具の取り付け孔位置

① 20.0　② 20.0　③ 26.6



● 画面角度の調節範囲
左右各20度

● 質量　14.6 kg

● 付属品　**12**ページ参照

※このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※テレビのV型(32V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。

※電源を切っていても番組表データが取得できるまでは、機能待機時と同様の消費電力となります。

※年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※本機は「JIS C61000-3-2適合品」です。

※区分名とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)で、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づき区分されたものです。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社はカラーテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。(➔ 次ページ)

修理を依頼されるときは

52〜56ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビクター地上･BS･110度CSデジタル液晶テレビ
型　名	LT-32LC305-B/LT-32LC305-S
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	(　　) ー

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検 ●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	
	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

➡

ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきまして、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  1 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  2 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.S.	(0166) 25-2533	旭川市5条通17丁目1439番地1
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市西5条南28丁目1-1 有限会社オーイーエム内
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.S.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027) 255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028) 635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029) 246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	ENGサポートセンター24 受付グループ	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区大成町4-503
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055) 227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025) 241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市中央区鐙1丁目5-23
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026) 221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 204-0050	静岡市駿河区高松一丁目16-14
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市東区北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市六条北四丁目8-10今尾ビル103号室
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 50-6161	福井市和田東1丁目1807番地 ビルズK103
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪 奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.S.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 665-9601	徳島市川内町榎瀬673
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092) 707-0500	福岡市博多区沖浜町11番10号 サンイースト福岡1F
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.S.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 0108

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

著作権

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■SDHCロゴは商標です。

■本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル(通話料金無料)でない限り、電話料金はお客様の負担になります。

■本機は電波産業界規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。

■この製品に使用されているソフトウェアに関する情報については、メニューボタンを押して、「初期設定」→「デジタル放送共通設定」→「自動ダウンロードの設定」画面を表示中に黄色(情報表示)ボタンを押すと本機のソフトウエアに関する情報が表示されます。

■有料番組のなかには、その製作者によって「視聴すること」のみ許可されている場合があります。これらのプログラムは著作権保護されており、いかなる目的といえども、著作権者の文書による明示された許可がない限り、コピーまたは再生できません。

■この製品には、株式会社リコーがデザイン製作した下記書体のリコーフォントを使用しています。
・平成丸ゴシック体TM-W4
・平成丸ゴシック体TM-W8
・平成角ゴシック体TM-W5
・Newゴシック体

■マックスオーディオはWaves Audio LTD. の登録商標です。

・Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。

・Gガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

・米 Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

■This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■お助けガイドは株式会社カナックから使いかたナビ®の技術供与を受けています。

■マーク、およびは「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラ(2007年9月1日テレビポータルサービス(株)より社名変更)の商標です。

■本製品は電源立ち上げ時の出画時間短縮のため、トライピークス社のTP InstantBootを採用しています。

■各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示

本機において、MPEG2 AACに関する下記番号の特許(出願中も含む)を使用しています。

特許番号(出願番号)

5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433
5,222,189 5,357,594 5,752,225 5,394,473
5,583,962 5,274,740 5,633,981 5,297,236
4,914,701 5,235,671 07/640,550 5,579,430
98/03037 97/02875 97/02874 98/03036
5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584
5,781,888 08/039,478 08/211,547 5,703,999
08/557,046 08/894,844 5,299,238
5,299,239 5,299,240 5,197,087 5,490,170
5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654
5,548,574 08/506,729 08/576,495 5,717,821
08/392,756

索引

アルファベット

AAC デコーダー 29
B-CAS カード 18
B-CAS カード番号の表示 49
BS/CS デジタル設定 21, 49
BS 選局ガイドチャンネルの設定 21, 49
CATV 選局方式の設定 22, 50
CATV チャンネルの設定変更 22, 50
CS 選局ガイドチャンネルの設定 21, 49
DCC 47
DVI 26
E.E. センサー 48
F 型接栓 16
HDMI 26
HDMI 1の音声入力端子 26
SD カード 43, 45
VHF/UHF アンテナ 15

あ

アクトビラ 44
暗証番号の設定 49
アンテナ 15
アンテナの設定 21, 48, 49
色あい 47
色温度 47
色の濃さ 47
インターネット 44
インテリジェントガンマ 47
衛星情報の設定 21, 49
映像出力画面の縦横比の設定 25, 49
映像調節 47
エコセンサー 43
エコセンサーの効果表示 48
オートピクチャー 47
お買い上げ設定ウィザード 19
お知らせ音の設定 49
お助けガイド 33, 42
オフタイマー 43
オンエア 40, 43, 44
音声切換 42
音量 31

か

外部入力の表示設定 28
画面位置の調節 47
画面サイズ 32, 47
画面表示 42
黒レベル 47
県域の設定 49

さ

サービス切換 43
視聴制限 49
視聴設定 47
視聴予約 41
自動ダウンロードの設定 49
字幕 42
シャープネス 47
省エネ設定 48
消音 31
情報 43
信号切換 43
数字ボタン 31, 36, 42
スピーカー 13
接続設定 48
設置設定 48
設定のリセット 50
選局ガイド 42

た

地域設定 21, 48
地域チャンネル合わせ 22, 50
地上アナログ設定 22, 50
地上デジタル設定 21, 48
チャンネル 31
チャンネルスキャン 21, 48
チャンネルの設定 21, 22, 48, 50
データ放送 43
デジタル放送共通設定 49
デモ設定 50
テレビ消し忘れ防止設定 48
電源 31
電池 12
転倒防止 10
電話の設定 17, 49
独立データ放送 43
トピックス 43

な

ナチュラルシネマ 47
入力切換 32
ネット接続設定 30, 50
ネット操作 44
ネットワーク設定 50
年齢による視聴制限の設定 49
ノイズクリア 47

は

倍速 120 コマ 50
はっきり 42
バックライト 47
バランス 47
番組内容 42
番組表 40
番組表の設定 21, 49
番号入力 36, 42
光デジタル音声出力 29
ピクチャー 47
ひっそり 42
ビデオ 1 入力信号のモニター音声 25
標準に戻す 47
放送局名設定 22, 50
ホームメニュー 33, 41, 43

ま

マックスオーディオ 43, 47
マックスステレオ 47
マックストレブル 47
マックスベース 47
マックスボリューム 47
マルチビュー放送 43
無信号電源オートオフ 48
明／暗選択 43, 47
メール 43
メニュー 43, 46
文字スーパーの設定 49
文字入力方式の設定 30, 50

や・ら・わ

郵便番号の設定 49
ゆっくり 42
ラジオ放送 43
落下防止 10
リモコンガイド 38, 42
連動データ 42

J-Moss　グリーンマーク表示対象製品です

J-Mossとは電気･電子機器の特定化学物質の含有表示を規定するJIS規格で、グリーンマークは特定化学物質(鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB、PBDE)を基準値以上含まないことを証明するものです。

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、60ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 **61ページをご覧ください。**	**お客様ご相談センター** **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話　(045) 450−8950 FAX　(045) 450−2275 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2008 Victor Company of Japan, Limited

0208HHH-MW-VP